

## 第 2 部 家族調査

## 1. 目的

本調査は、ひきこもり支援における家族会と行政の連携状況を明らかにすることを目的としています。

## 2. 調査方法

### 【 調査対象者 】

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会（以下、「家族会」とする）の支部が平成 30 年 11 月～平成 31 年 1 月に開催した月例会において調査を実施しました。月例会参加者のうち、調査協力の得られた 304 名の回答が分析に用いられました。

### 【 調査内容 】（注：調査内容の詳細は、巻末の資料を参照してください）

（1）基礎情報 家族調査に回答した方（以下、家族回答者）及び、ひきこもり状態にある人（以下、ひきこもり本人）に関する以下の情報について回答を求めました。

- ・ひきこもり状態
- ・ひきこもりの初発年齢および期間
- ・現在のひきこもりの程度
- ・ひきこもり本人の 1 ヶ月の平均外出日数
- ・家族回答者が現在住んでいる都道府県
- ・家族回答者の続柄
- ・家族回答者の年齢
- ・ひきこもり本人の性別
- ・ひきこもり本人の年齢

（2）支援・医療機関について（家族回答者とひきこもり本人）

- ・支援・医療機関の利用経験の有無
- ・支援・医療機関利用の中断

（3）社会参加や職業について（ひきこもり本人）

- ・社会参加に関する困難感

（4）KHJ 家族会について（家族回答者）

- ・家族会への所属
- ・家族会への参加状況
- ・家族会への参加回数

- ・家族会に期待していたこと
- ・家族会で実際に得られたこと

(5) 家族会と行政の連携について

- ・連携の必要性
- ・どのような連携を求めているか（自由記述）
- ・家族会と連携してほしい行政機関
- ・家族会と連携ができていると思う行政機関
- ・存在を認知している行政機関
- ・行政と連携する上での障害（自由記述）

(6) ひきこもり長期化の理由について（自由記述）

(7) ひきこもり状況にある仮想上の人物への対応について

- ・医療機関の受診の必要（ひきこもり状況にある仮想上の例）
- ・ひきこもり状況にある仮想上の人物への対応

(8) 家族会への入会時と現在について

- ・家族会への参加期間
- ・年代
- ・仕事について
- ・家事について
- ・育児や介護について
- ・親しい人との関係について
- ・親しくない人との関係について
- ・会話の有無
- ・同居家族との不和について
- ・学校について

(9) 望む支援について（自由記述）

**【 調査手続き 】**

調査の趣旨に関する文書を読んだ上で、調査協力に同意された方のみが調査用紙に回答をしました。調査の趣旨に関する文書は、調査用紙から切り離して、持ち帰っていただくように依頼しました。回答者には、月例会において調査用紙と返信用封筒を配布し、返信用封筒に入れて郵送にて回収をしました。

結果

(2) 基礎情報

1. ひきこもり状態について

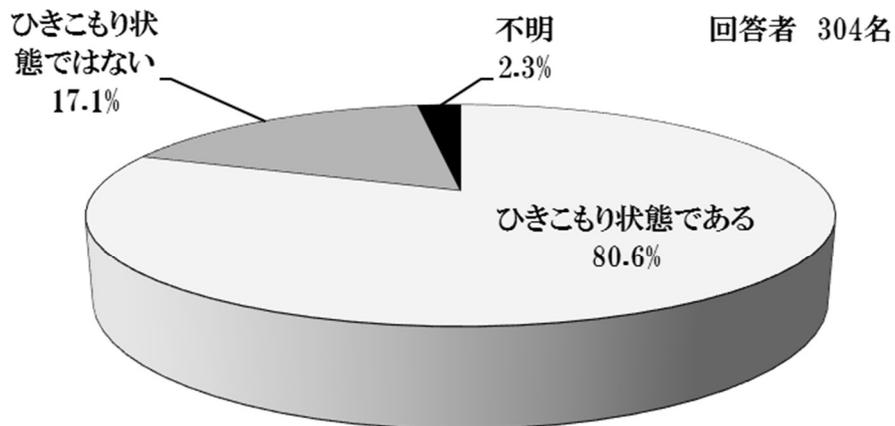


図2-1 現在のひきこもり状態

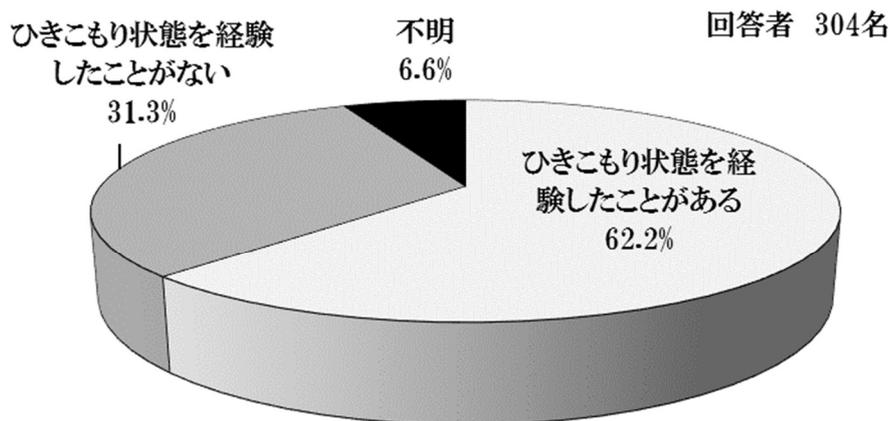


図2-2 過去のひきこもり状態

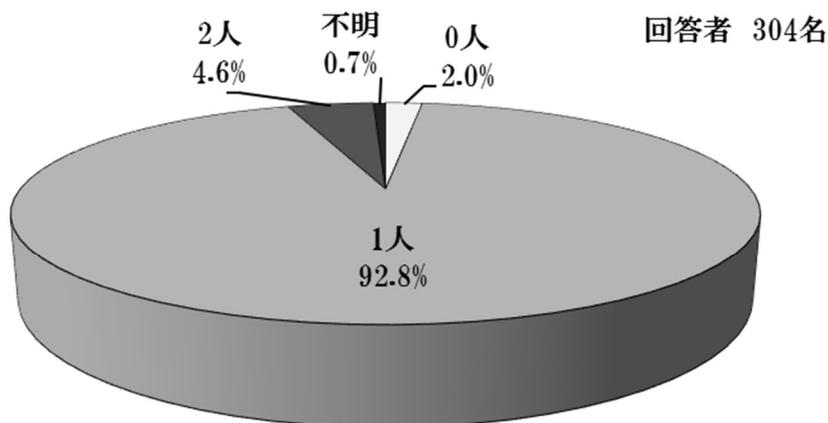


図2-3 家庭内でひきこもり状態にある方の人数

家族回答者がひきこもり本人の現在のひきこもり状態について回答した結果を図2-1に示しています。「ひきこもり状態である」が80.6% (77.6%)、「ひきこもり状態ではない」が17.1% (21.0%)、不明が2.3% (1.5%)でした。昨年度よりもひきこもり状態である人の割合が多くなる結果となりました。また、過去にもひきこもり状態を経験したことがあるかについて図2-2に示しました。「ひきこもり状態を経験したことがある」が62.2% (64.3%)、「ひきこもり状態を経験したことがない」が31.3% (27.2%)、不明が6.6% (8.5%)でした(カッコ内は昨年度の値)。

また、家庭内にひきこもり状態である方が何人いるかを図2-3に示しました。「0人」が2.0% (0%)、「1人」と回答した方がもっとも多く92.8% (94.9%)でした。「2人」が4.6% (4.2%)、不明が0.7% (0.9%)でした。

## 2. ひきこもりの初発年齢および期間

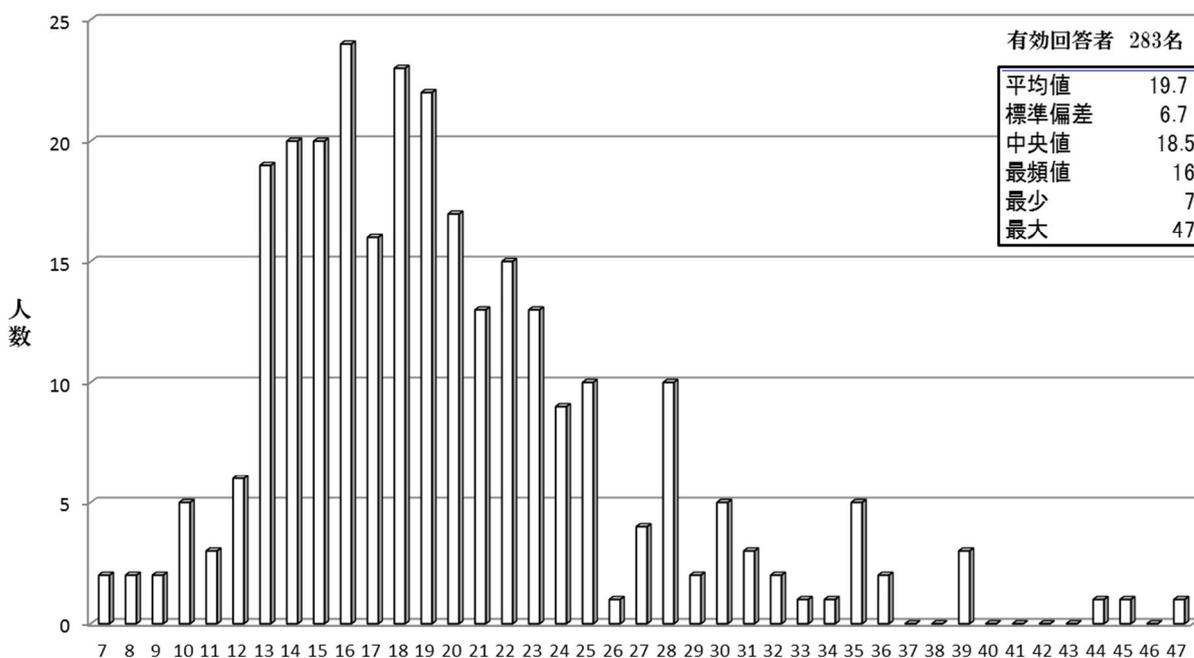


図2-4 ひきこもり初発年齢

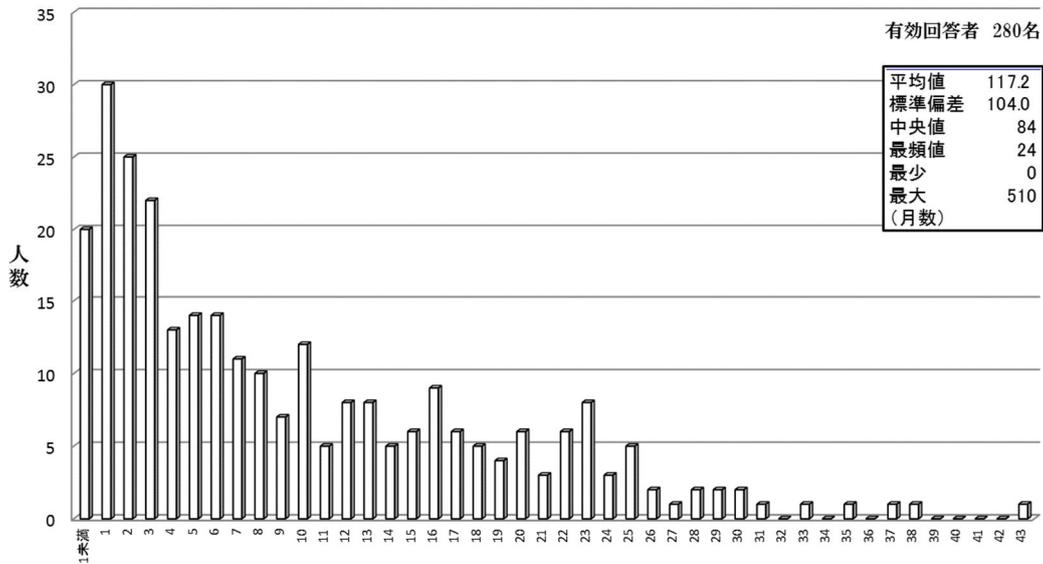


図2-5 ひきこもり期間(年)

図2-4にひきこもり本人のひきこもり初発年齢について示しました。ひきこもりが始まった時期についての平均年齢は19.7歳(19.6歳)と昨年度とほぼ同様の割合となりました。最年少が7歳(6歳)、最年長が47歳(46歳)でした。もっとも多かった年齢については16歳(20歳)でした(カッコ内は昨年度の値)。

図2-5にひきこもり期間について示しています。平均は9.8年(9.6年)、最長が0ヶ月(0.5ヶ月)、最長が42.5年(44.7年)でした。

### 3. 現在のひきこもりの程度

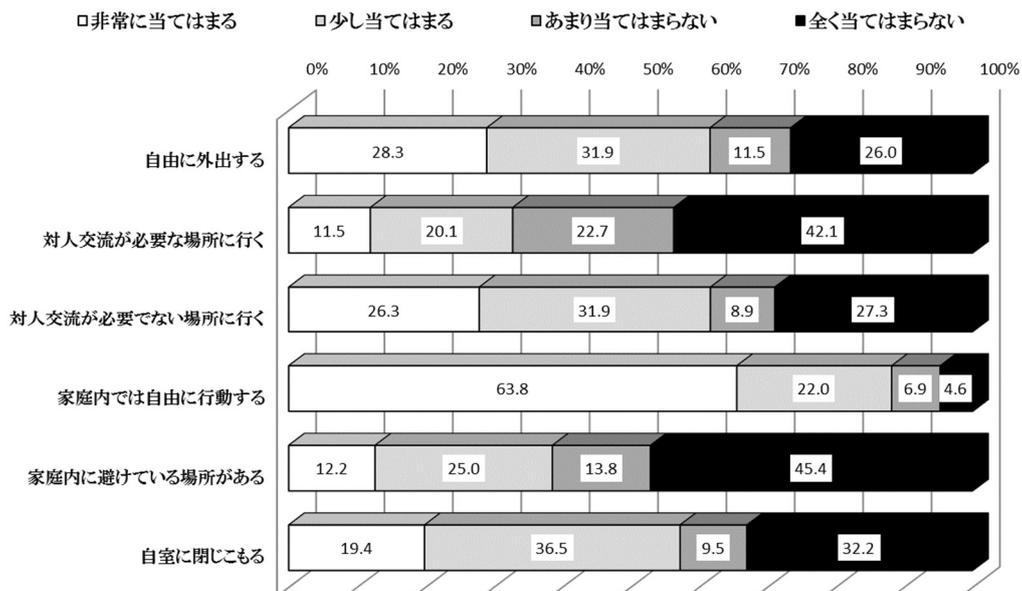


図2-6 ひきこもりの程度

図2-6のとおり、ひきこもりの程度については、家庭内では自由に行動し、自由に外出する方、対人交流が必要ではない場所へ行く方が多いと言えます。これは昨年度と同様の結果となりました。一方、対人交流が必要な場所に行くことについて、「まったく当てはまらない」あるいは「あまり当てはまらない」と回答した人が64.8%、自室に閉じこもることについて「非常にあてはまる」あるいは「少しあてはまる」と回答した人が55.9%と、深刻なひきこもり状態にあると言えます。

#### 4. ひきこもり本人の1ヶ月の平均外出日数

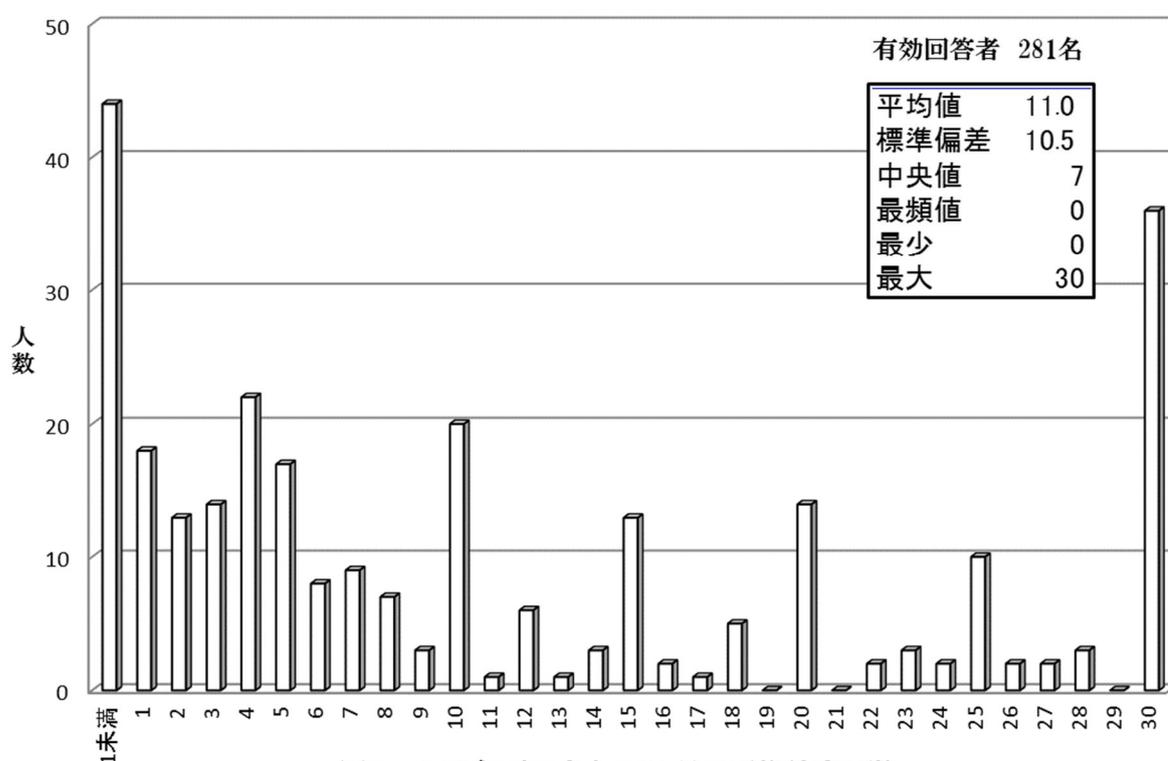


図2-7 ひきこもり本人の1ヶ月の平均外出日数

図2-7に、ひきこもり本人の1ヶ月の平均外出日数について示しました。「毎日外出している」と回答された場合や、「31日外出している」と回答された場合は、「30日」として示しました。外出日数の平均は11.0日（10.2日）、最少は0日（0日）、最大は30日（30日）でした（カッコ内は昨年度の値）。もっとも多い回答は0日であり、家族回答者が抱えるケースでは、まったく外出しない人が多いことが分かります。

## 5. 家族回答者が現在住んでいる都道府県

表2-1 家族回答者が現在住んでいる場所

地方	都道府県	人数	地方	都道府県	人数
北海道	北海道	15	近畿地方	三重県	2
東北地方	青森県	3		大阪府	6
	宮城県	1		兵庫県	8
	秋田県	1	中国地方	岡山県	1
	山形県	6		広島県	7
	福島県	3	四国地方	香川県	15
関東地方	茨城県	8		愛媛県	7
	栃木県	12		高知県	4
	群馬県	9	九州地方	福岡県	13
	埼玉県	29		大分県	3
	千葉県	26		宮崎県	3
	東京都	37		沖縄県	4
	神奈川県	7	不明		3
中部地方	山梨県	3	合計		304
	長野県	1			
	新潟県	16			
	富山県	7			
	石川県	2			
	静岡県	27			
	愛知県	14			
岐阜県	1				

表2-1に示したとおり、家族回答者が住んでいる場所は33都道府県（36都道府県）に分布しています。各地方の割合としては、北海道・東北地方が9.7%（7.0%）、関東地方が42.7%（36.9%）、中部地方が23.7%（30.1%）、近畿地方が5.3%（3.3%）、中国地方が2.7%（6.6%）、四国地方が8.7%（11.2%）、九州地方が7.7%（4.0%）となっています（カッコ内は昨年度の値）。千葉県や東京都、埼玉県、北海道、新潟県、静岡県、香川県は回答者が特に多いことが分かります。

## 6. 家族回答者の続柄

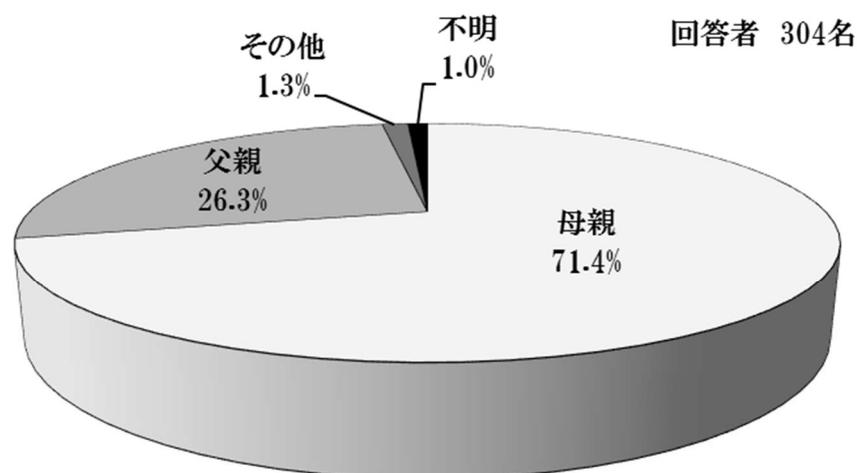


図2-8 家族回答者の続柄

図2-8のとおり、家族回答者とひきこもり本人との続柄は、母親が71.4% (72.8%)、父親が26.3% (24.1%)、その他が1.3% (2.2%)、不明が0.9% (2.8%) でした(カッコ内は昨年度の値)。その他として、祖母、兄といった回答が得られました。

## 7. 家族回答者の年齢

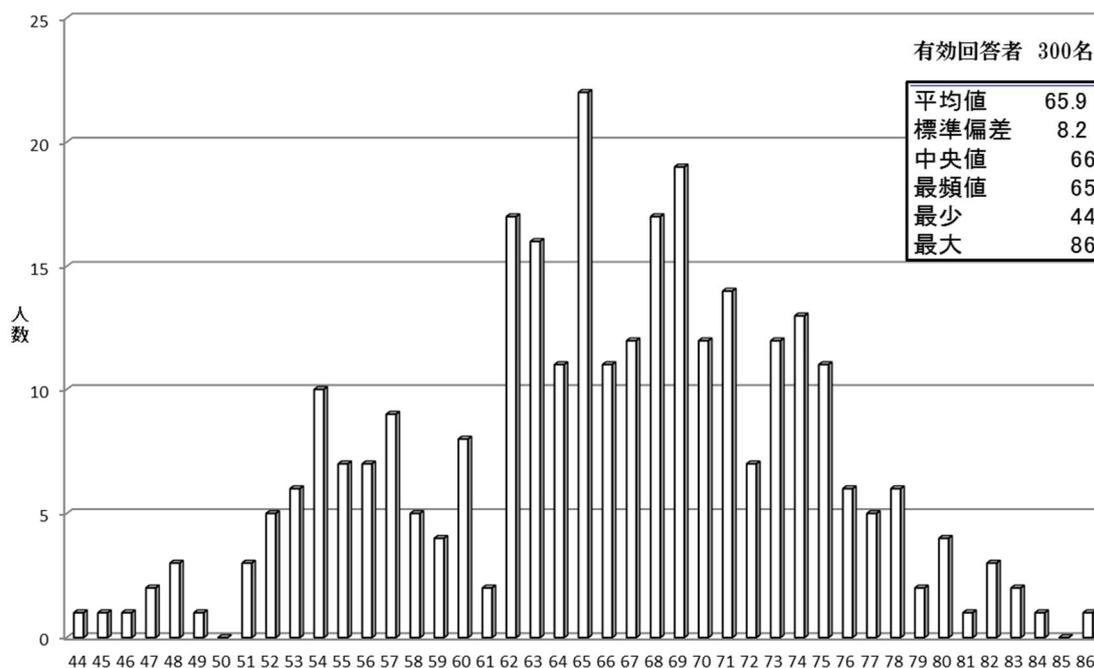


図2-9 家族回答者の年齢

家族回答者の年齢を図2-9に示します。家族回答者の平均年齢は65.9歳(64.5歳)であり、最年少が44歳(31歳)、最年長が86歳(86歳)でした(カッコ内は昨年度の値)。

## 8. ひきこもり本人の性別

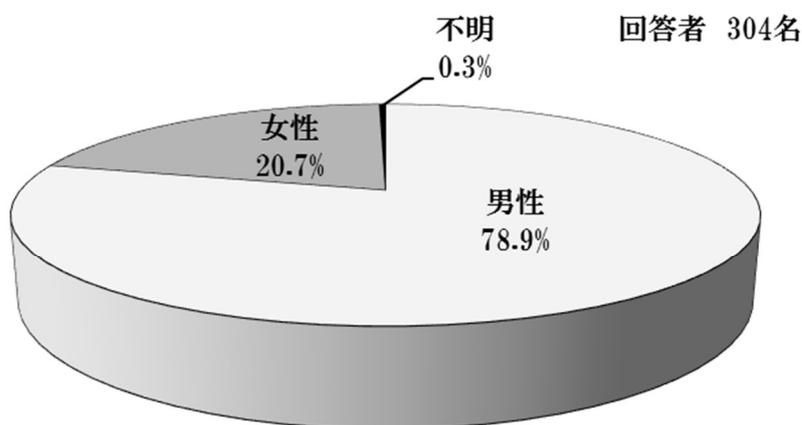


図2-10 ひきこもり本人の性別

図2-10のとおり、ひきこもり本人の性別については、男性が78.9% (74.8%)、女性が20.7% (24.3%)、不明が0.3% (0.9%) でした (カッコ内は昨年度の値)。

## 9. ひきこもり本人の年齢

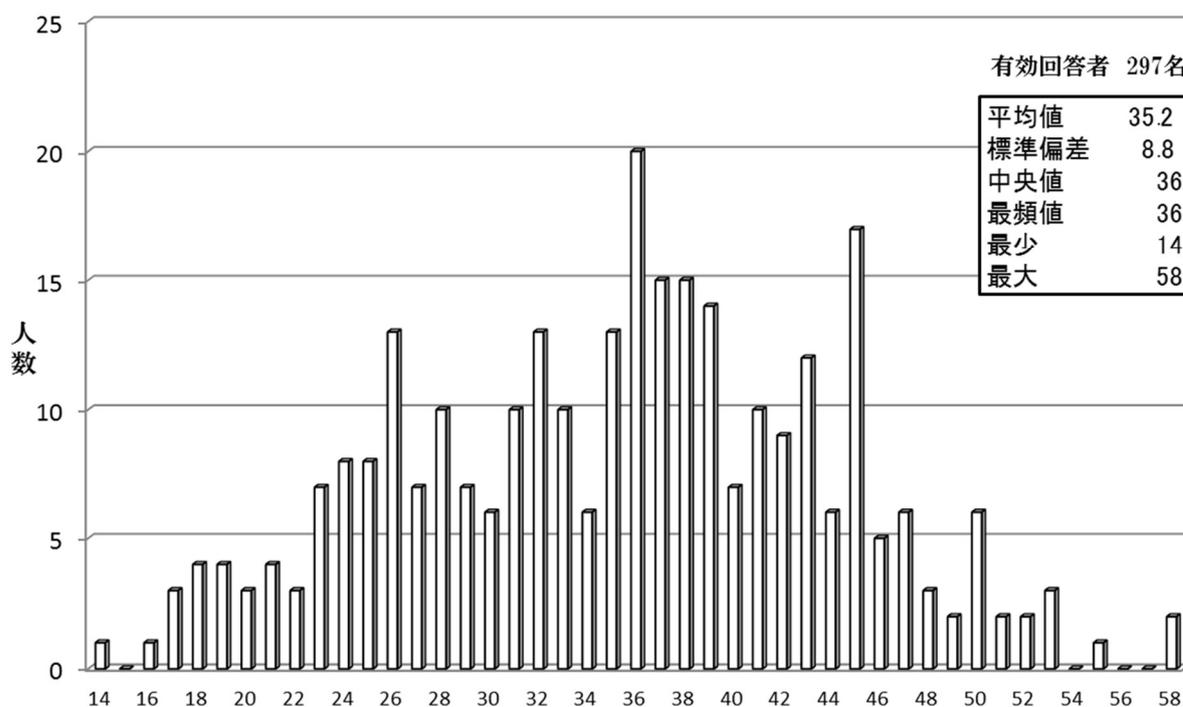


図2-11 ひきこもり本人の年齢

ひきこもり本人の年齢を図2-11に示しました。平均年齢35.2歳 (34.4歳) であり、最年少が14歳 (9歳)、最年長が58歳 (57歳) でした (カッコ内は昨年度の値)。

## (2) 支援・医療機関について

### 1. 支援・医療機関の利用状況

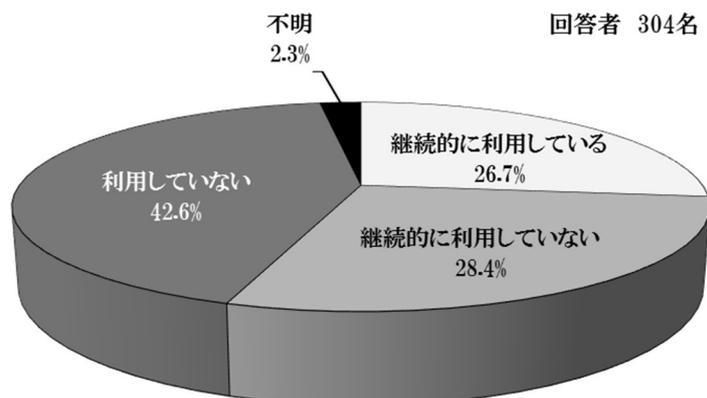


図2-12 支援・医療機関の利用状況(ひきこもり本人)

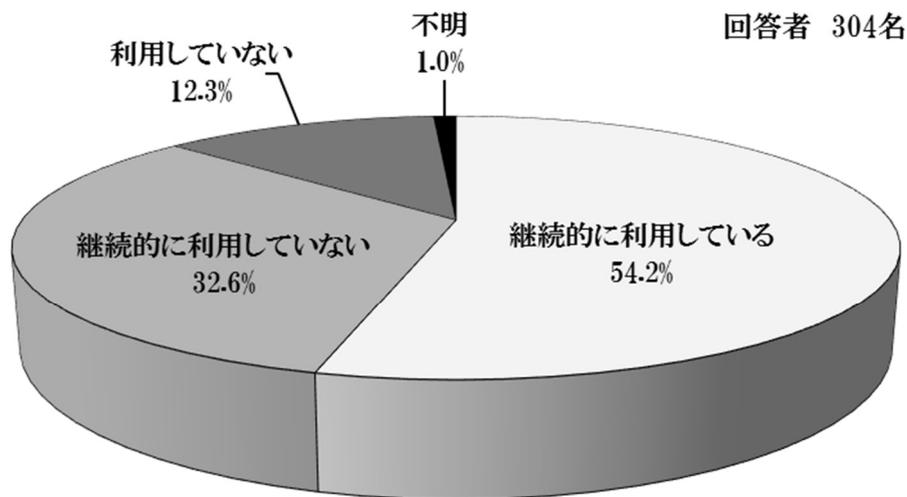


図2-13 支援・医療機関の利用状況(家族回答者)

ひきこもり本人の支援・医療機関の利用について図2-13に示しました。利用している方が55.1% (55.5%)、そのうち継続的に利用している方が29.7% (29.6%)、継続的に利用していない方が28.4% (28.4%)、また、利用していない方が42.6% (41.1%)、不明が1.0% (2.3%) でした。

家族回答者の支援・医療機関の利用については、利用している方が86.8% (84.2%)、そのうち継続的に利用している方が54.2% (59.0%)、継続的に利用していない方が32.6% (28.7%)、また、利用していない方が12.3% (10.7%)、不明が1.0% (1.5%) でした(カッコ内は昨年度の値)。家族回答者の多くが支援・医療機関を利用していることが分かります。

## 2. 支援・医療機関利用の中断

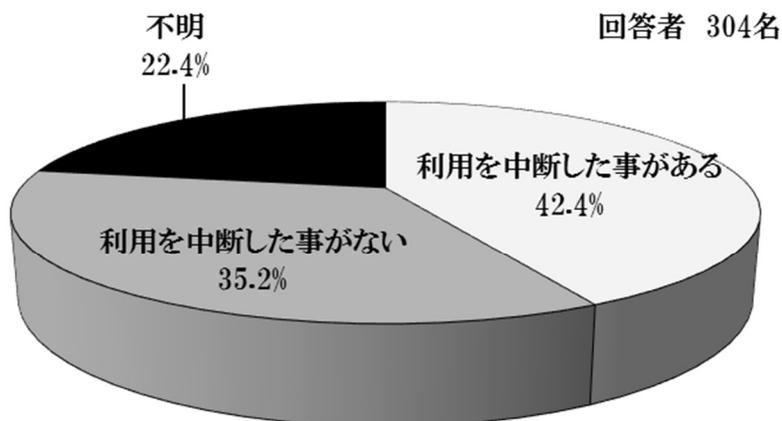


図2-14 支援・医療機関利用の中断(ひきこもり本人)

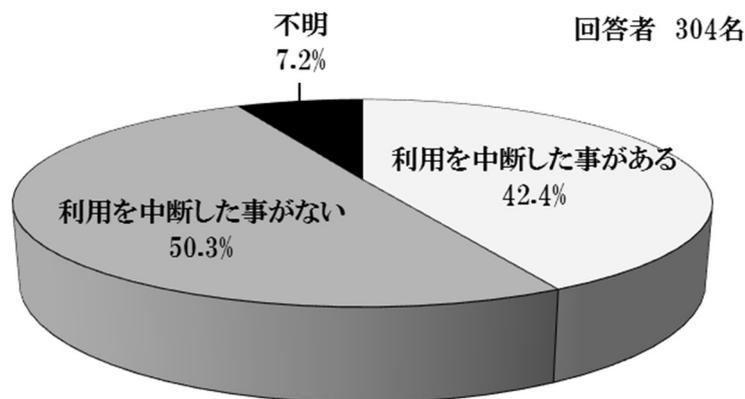


図2-15 支援・医療機関利用の中断(家族回答者)

これまでに、ひきこもり本人が支援・医療機関の利用を中断した経験があるかについては、利用を中断した事があると回答された方が42.4%（42.1%）、利用を中断した事がないと回答された方が35.2%（36.4%）、不明が22.4%（21.5%）でした。家族回答者が支援・医療機関の利用を中断した経験があるかについては、利用を中断した事があると回答された方は42.4%（45.4%）、利用を中断した事がないと回答された方が50.3%（47.1%）、不明が7.2%（7.5%）でした（カッコ内は昨年度の値）。

### (3) 社会参加や職業について

#### 1. 社会参加に対する困難感

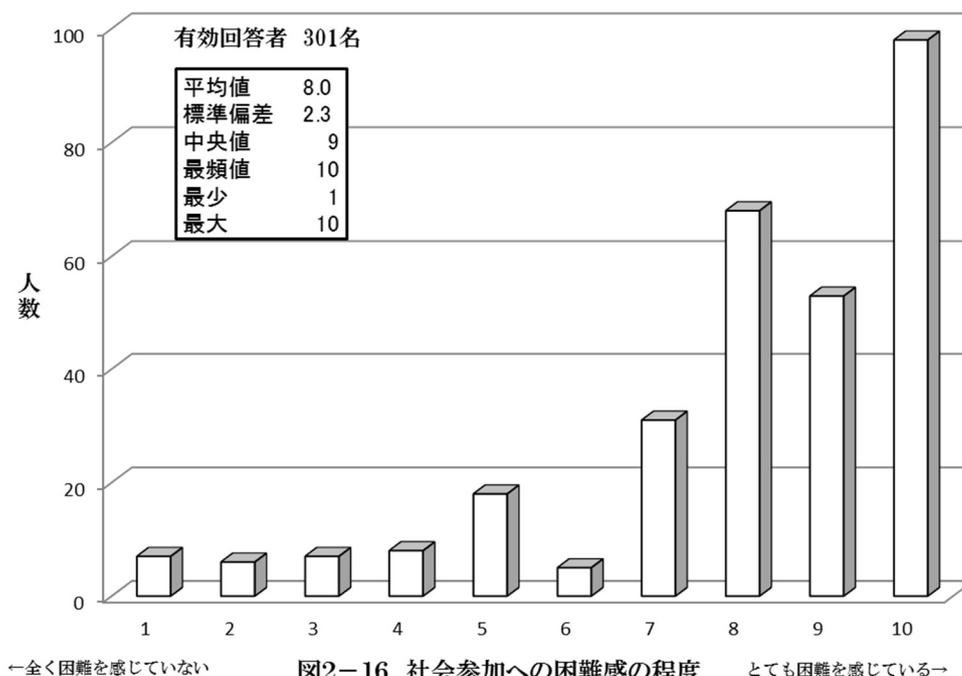


図2-16 社会参加への困難感の程度

図2-16にひきこもり本人が社会参加に対して抱えている困難感の程度を示しました。平均は8.0(7.8)でした。もっとも多い回答は10段階中10であり、社会参加に対して極めて深刻な困難を感じている方が非常に多いことがわかります。また、半数以上を占める72.8%(67.1%)の方が10段階で8以上と回答しており、回答者の多くの方が、社会参加に対してとても困難を感じていることがわかります(カッコ内は昨年度の値)。

#### (4) KHJ 家族会について

##### 1. 家族会への所属

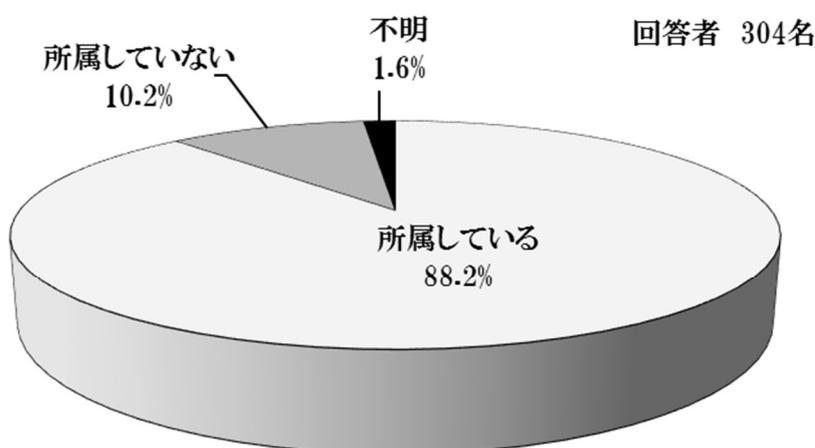


図2-17 家族会への所属

図2-17に家族会への所属の有無について示しました。「所属している」と回答した方が88.2%(91.5%)、「所属していない」と回答した方が10.2%(5.0%)、不明が1.6%(3.5%)でした(カッコ内は昨年度の値)。

##### 2. 本人回答者の家族会所属支部

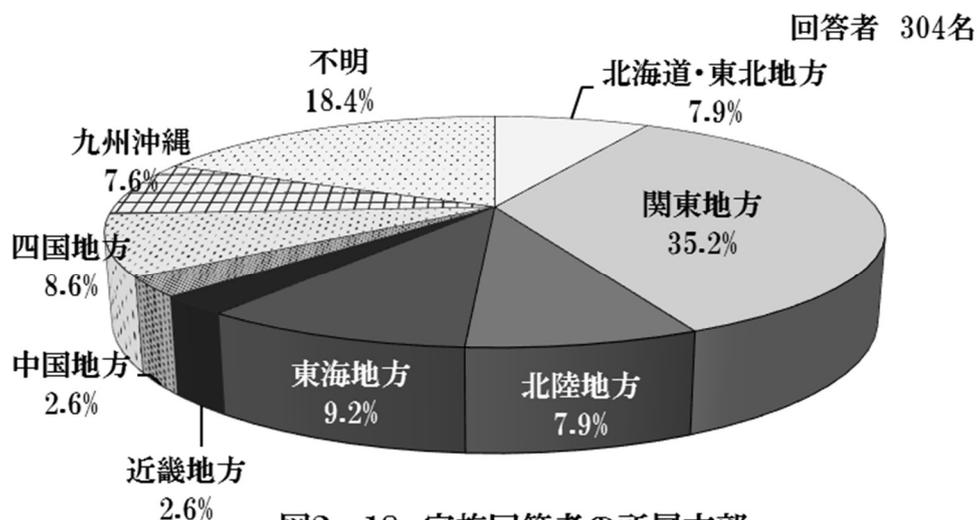


図2-18 家族回答者の所属支部

図2-18に家族会に所属していると回答した家族回答者の所属支部についてを地方別に示しました。関東地方がもっとも多いことが分かります。次に東海地方、四国地方、北陸地方、北海道・東海地方と多い傾向にありました。

### 3. 家族会への参加状況

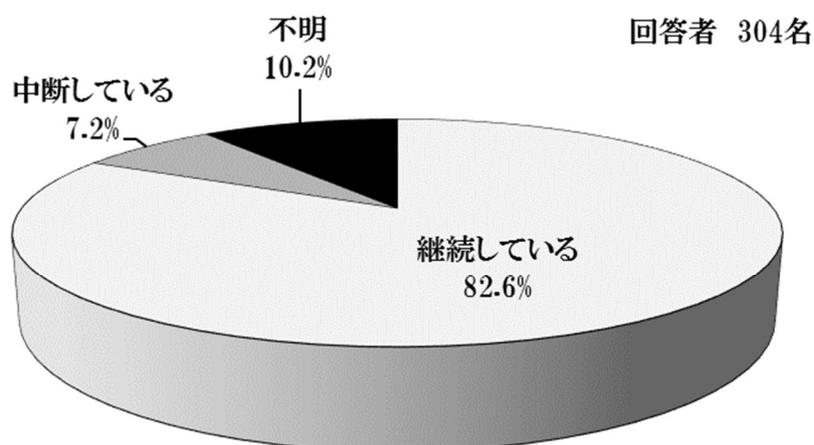


図2-19 家族会への参加状況

図2-19に家族会への参加状況について示しました。家族会を「継続している」と回答した方が82.6% (73.5%)、家族会を「中断している」と回答した方が7.2% (21.1%)、「不明」が10.2% (5.4%)でした(カッコ内は昨年度の値)。

### 4. 家族会への参加回数

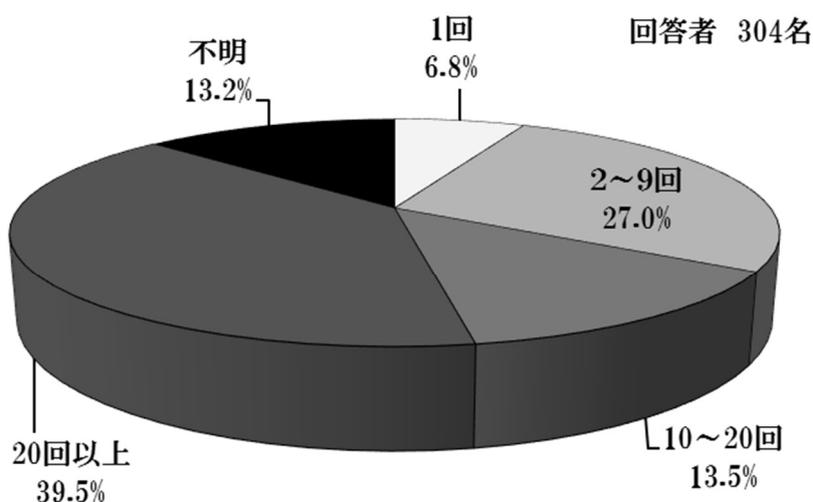


図2-20 家族会への参加回数

図2-20に家族会への参加回数について示しました。「20回以上」と回答した方がもっとも多く39.5%でした。次に「2～9回」と回答した方が27.0%、「10～20回」と回答した方が13.5%でした。

## 5. 家族会に期待していたこと

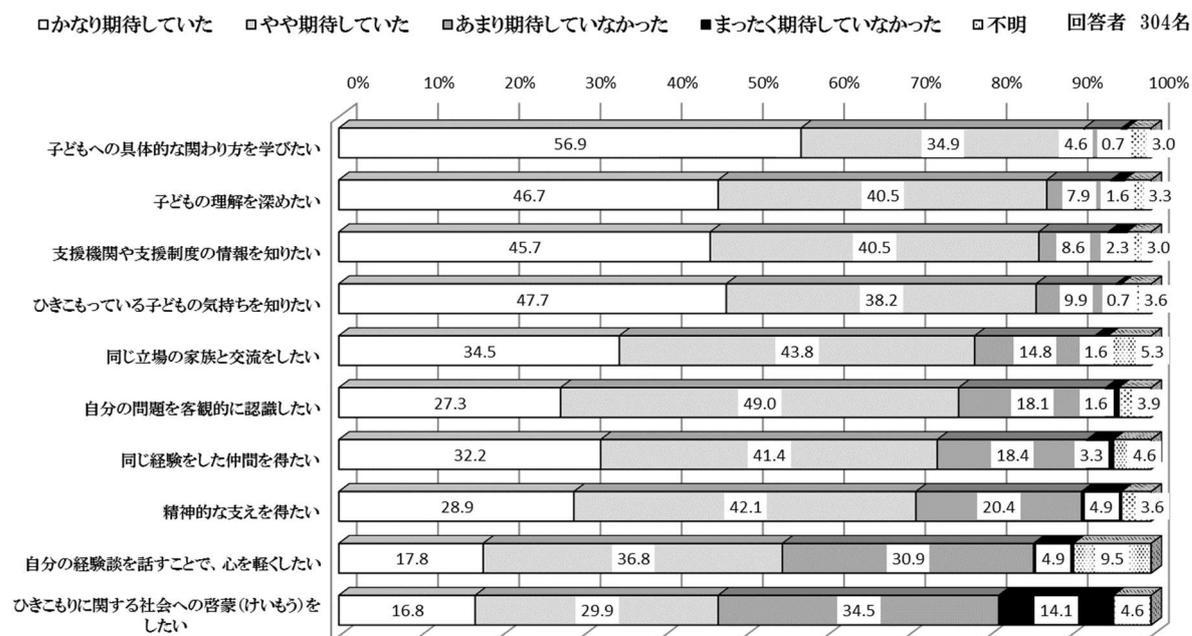


図2-21 家族会に期待していたこと

図2-21に、回答者が初めて家族会に参加した時に「家族会」に求めていたこと(期待)について示しました。

「子どもへの具体的な関わり方を学びたい」について「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方がもっとも多く91.8%でした。次に「子どもの理解を深めたい」について「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方が87.2%でした。「ひきこもりに関する社会への啓蒙(けいもう)をしたい」以外の「かなり期待していた」もしくは「やや期待していた」と回答した方が半数を超えており、家族会への期待が高いことがわかります。

## 6. 家族会で実際に得られたこと

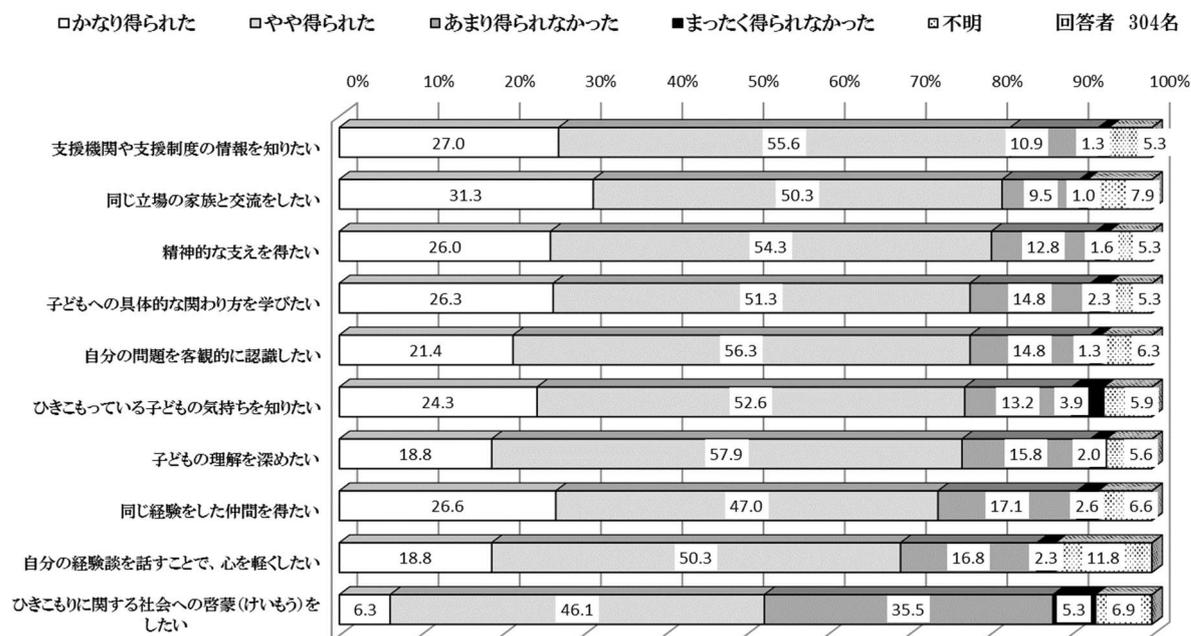


図2-22 家族会で実際に得られたこと

図2-22に、家族会に参加して実際に得られたとされていることについて示しました。

「支援機関や支援制度の情報を知りたい」について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答した方がもっとも多く82.6%でした。次に「同じ立場の人と交流をしたい」について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答した方が81.6%でした。すべての項目について「かなり得られた」もしくは「やや得られた」と回答された方が半数を超えています。

### (5) 家族会と行政の連携について

#### 1. 家族会と行政の連携の必要性

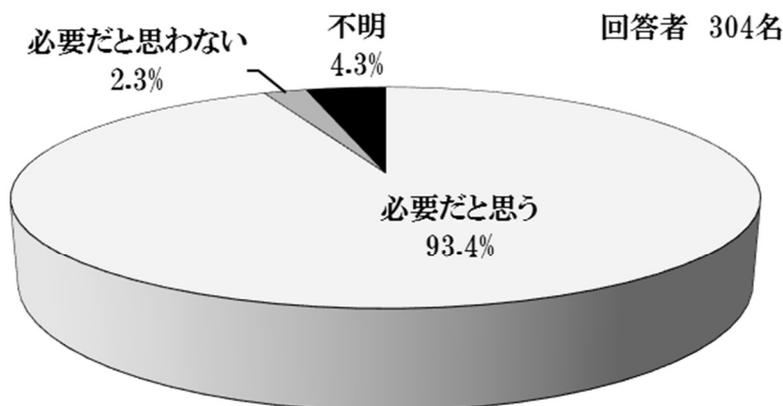


図2-23 家族会と行政の連携の必要性

図2-23に家族回答者が、家族会と行政の連携が必要と思うかについて示しました。「必要だと思う」と回答した方が93.4%、「必要だと思わない」と回答した方が2.3%でした。ほとんどの回答者が家族会と行政との連携は必要だと思っていることがわかります。

## 2. 家族会と連携してほしい行政機関

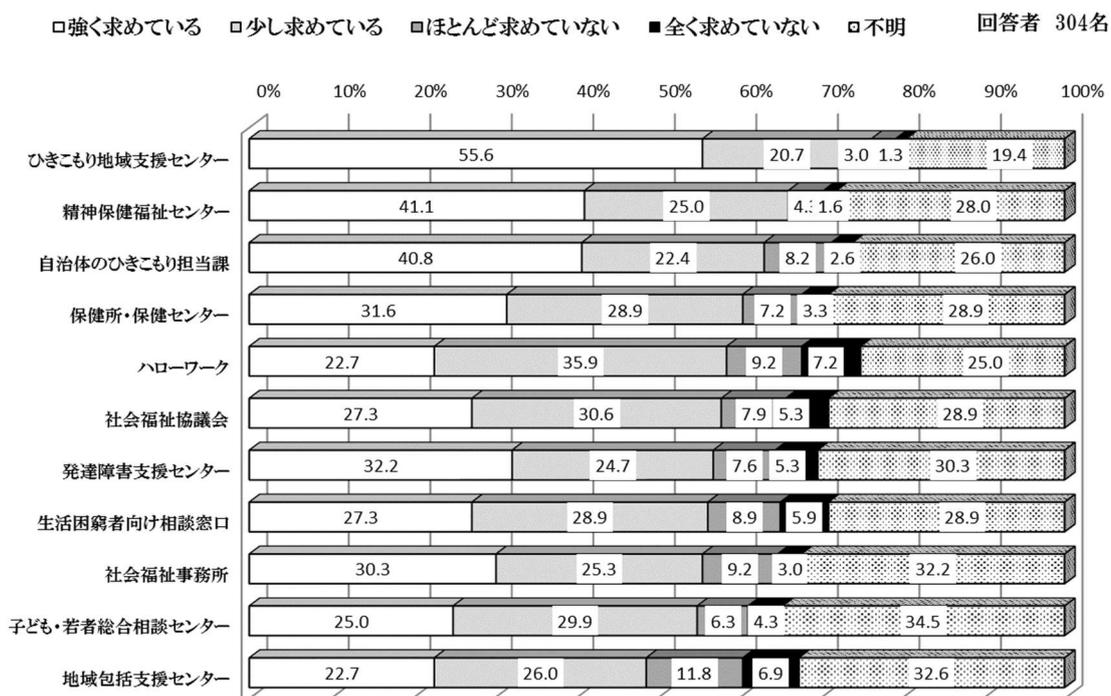


図2-24 家族会と連携してほしい行政機関

図2-24に、家族会と行政の連携が必要だと回答した場合、どのような行政機関との連携を求めているかについて示しました。

ひきこもり地域支援センターとの連携について「強く求めている」もしくは「少し求めている」と回答した方がもっとも多く76.3%でした。次に、精神保健福祉センターについて「強く求めている」もしくは「少し求めている」と回答した方が多く、66.1%でした。

### 3. 家族会と連携ができていると思う行政機関

□十分連携できている □少し連携できている □ほとんど連携できていない ■全く連携できていない □不明 回答者 304名

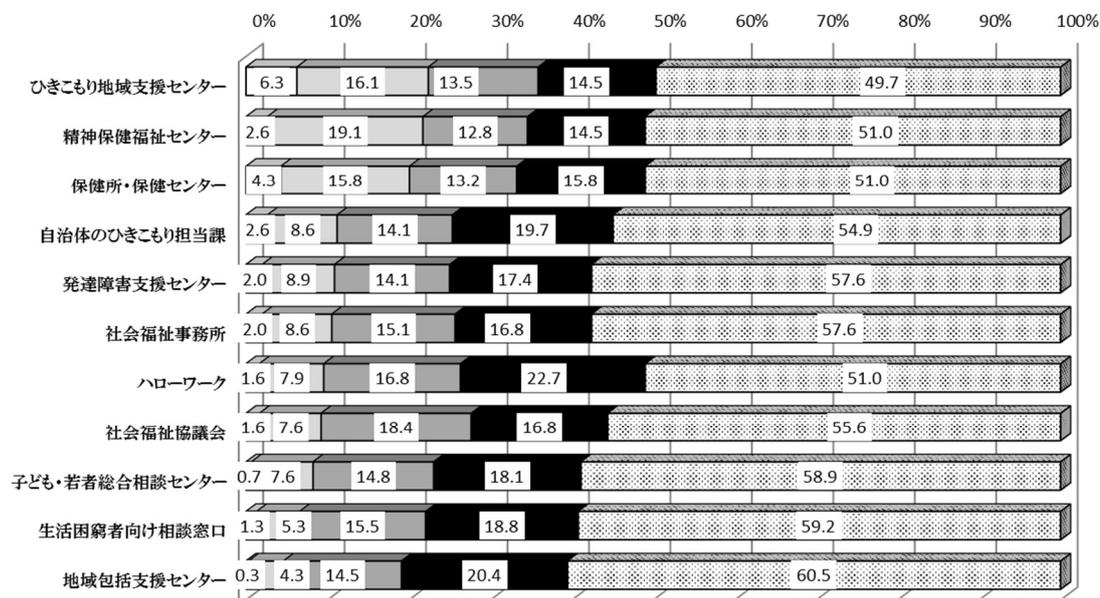


図2-25 家族会と連携ができていると思う行政機関

図2-25に家族会とそれぞれの行政機関がどの程度連携できていると思うかについて示しました。

ひきこもり地域支援センターとの連携について「十分連携できている」もしくは「少し連携できている」と回答した方は22.4%でした。一方「ほとんど連携できていない」もしくは「全く連携できていない」と回答した方は28.0%でした。精神保健福祉センターとの連携について「十分連携できている」もしくは「少し連携できている」と回答した方は21.7%、「ほとんど連携できていない」もしくは「全く連携できていない」と回答した方は27.3%でした。

行政機関との連携を求めている人が多い一方で、連携ができているという実感はなかなか得られていないことがわかります。

#### 4. 存在を認知している行政機関

□認知している ■分からない ▨不明

回答者 304名

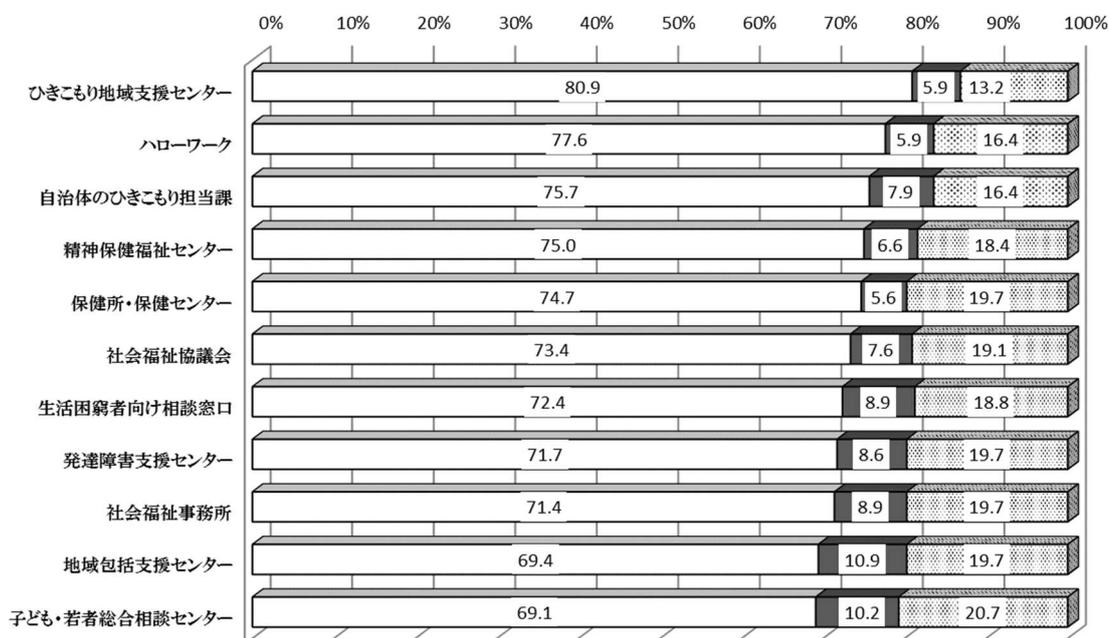


図2-26 存在を認知している行政機関

図2-26に家族回答者がそれぞれの行政機関の存在を知っているかについて示しました。

すべての行政機関について、回答の半数以上が認知している結果となりました。中でも、ひきこもり地域支援センターについて認知している方は80.9%で、もっとも認知度が高いことがわかります。

#### (6) ひきこもり状況にある仮想上の人物への対応について

##### 1. 医療機関の受診の必要(ひきこもり状況にある仮想上の例)

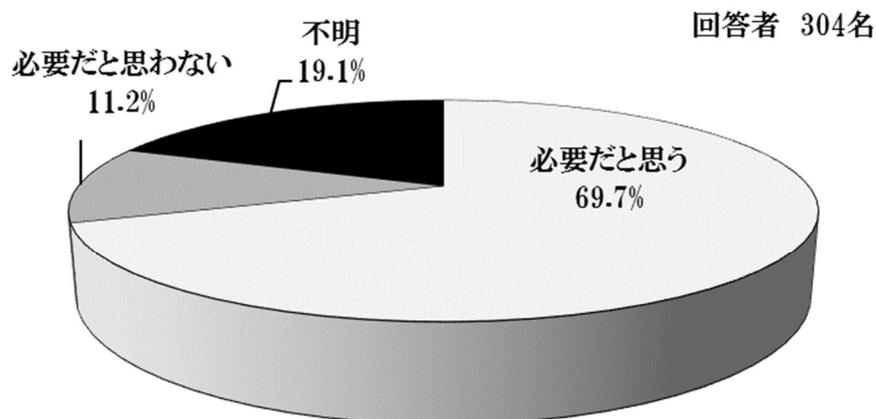


図2-27 医療機関の受診の必要(仮想上の例)

図 2 - 2 7 に仮想上の人物 (A さん) の様子に対して、精神科・心療内科の受診が必要だと考えるかについて示しました。仮想上の人物の様子については資料の家族調査用紙 (質問 H) をご参照ください。

「必要だと思う」と回答した方が 69.7%、「必要だと思わない」と回答した方が 11.2%、不明が 19.1%でした。半数以上の方が、仮想上の人物 (A さん) の様子に対して医療機関の受診を勧めるという結果になりました。

2. ひきこもり状況にある仮想上の人物への対応

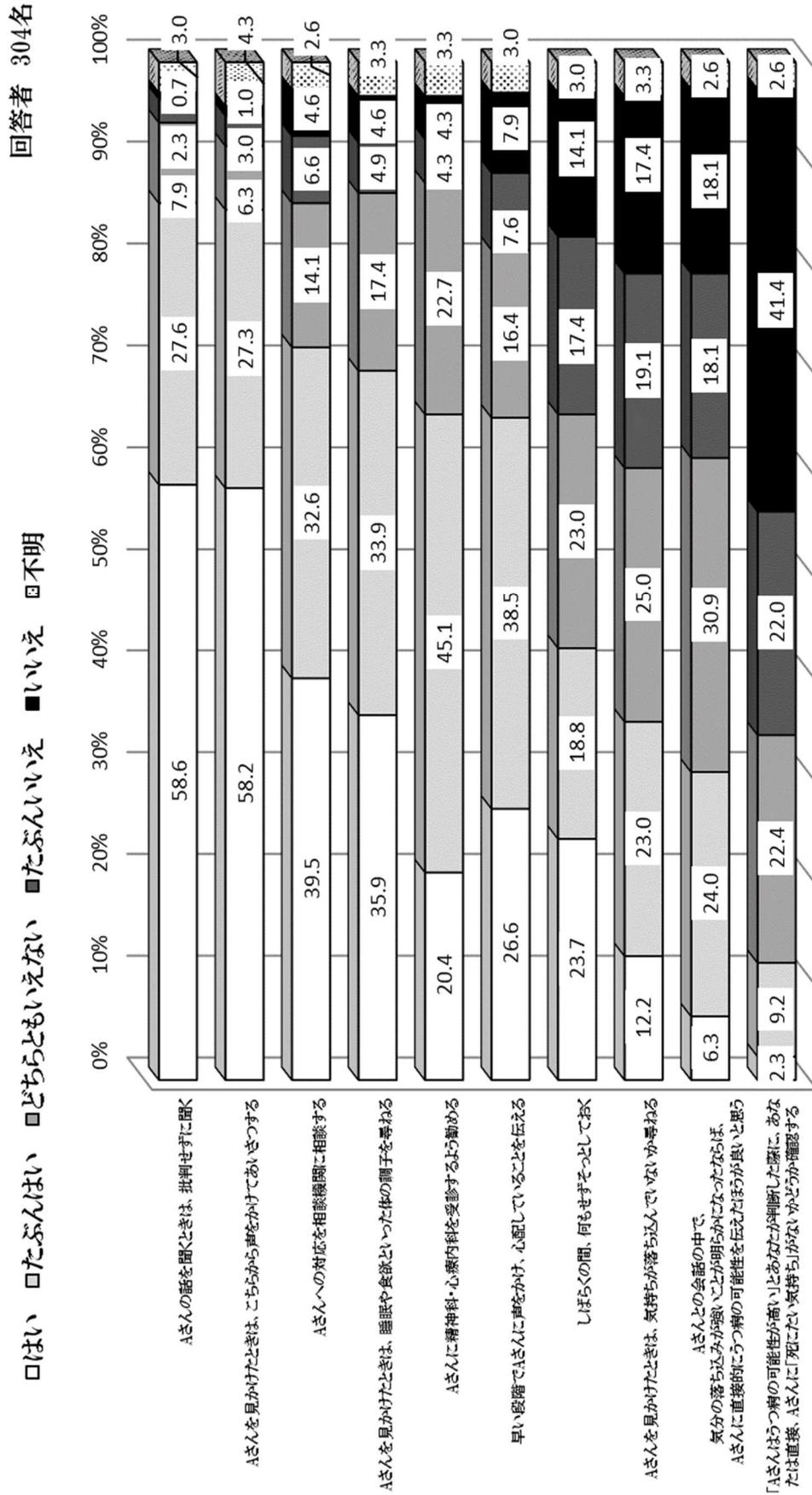


図2-28 仮想上の人物への対応

図2-28に、家族回答者の仮想上の人物（Aさん）への対応について示しました。

「Aさんの話を聞くときは、批判せずに聞く」について「はい」もしくは「たぶんはい」と回答した方が86.2%でもっとも多く、次に多いのが「Aさんを見かけたときは、こちらから声をかけてあいさつする」で「はい」もしくは「たぶんはい」と回答した方が85.5%でした。「Aさんはうつ病の可能性が高い」とあなたが判断した際に、あなたは直接、Aさんに「死にたい気持ちがないかどうか確認する」について「たぶんいいえ」もしくは「いいえ」と回答した方が63.5%で、半数以上の方が死にたい気持ちがないかどうか確認しないことがわかりました。

## （7）家族会への入会時と現在について

### 1. 家族会への参加期間

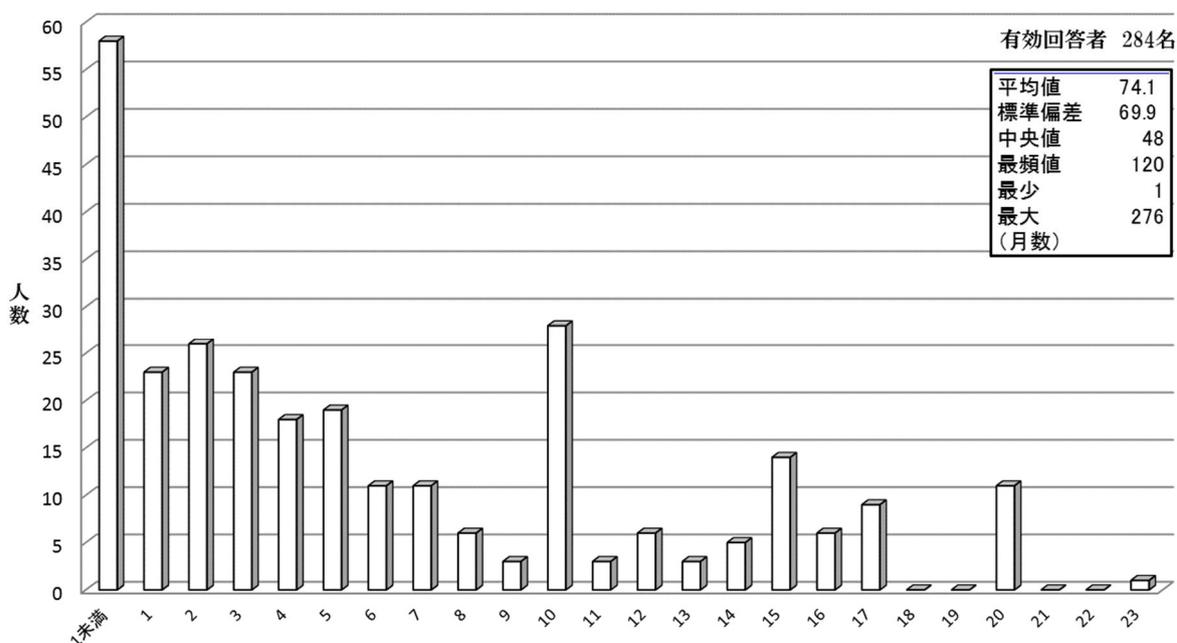


図2-29 家族会への参加期間(年)

図2-29に、家族回答者の家族会への参加期間について示しました。

平均は6.2年、最短が1ヶ月、最長が23年でした。また、1年未満と回答された方がもっとも多い結果となりました。

## 2. 年代

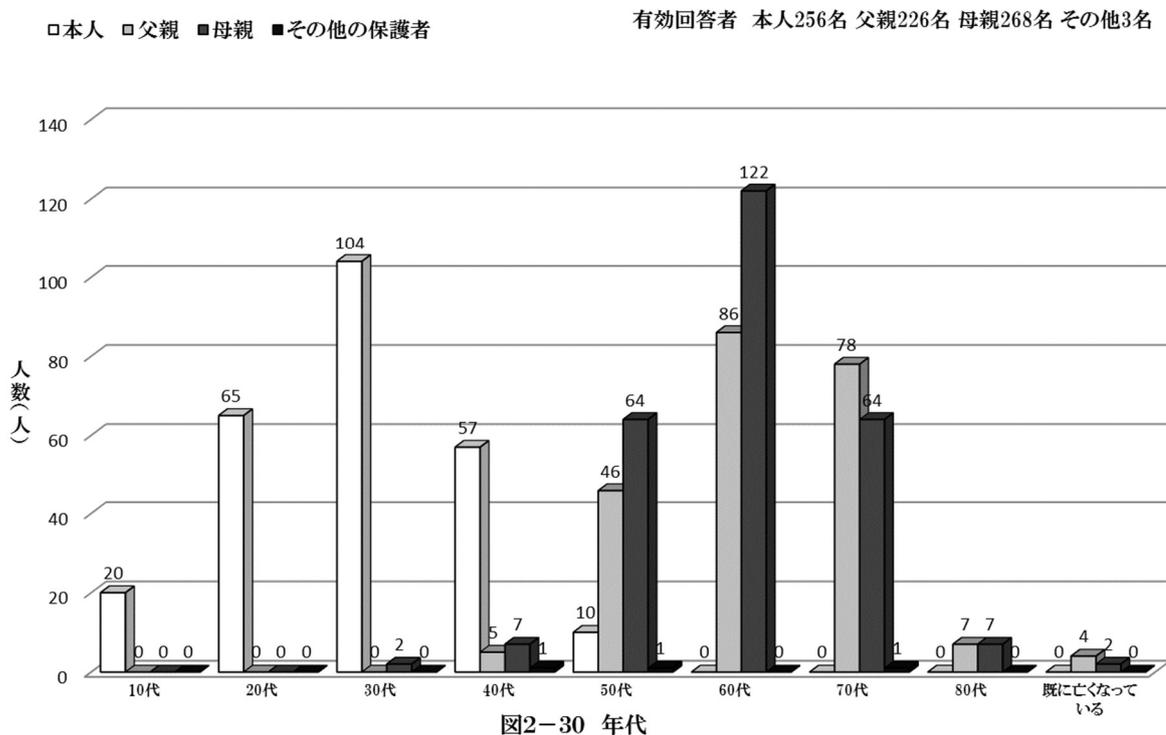


図2-30にひきこもり本人と父親、母親、その他の保護者のそれぞれの年代について示しました。ひきこもり本人については「30代」がもっとも多く、父親、母親については「60代」がもっとも多い結果になりました。その他の保護者としては祖母が「70代」、姉が「50代」、兄が「40代」という回答を得られました。

## 3. 仕事について

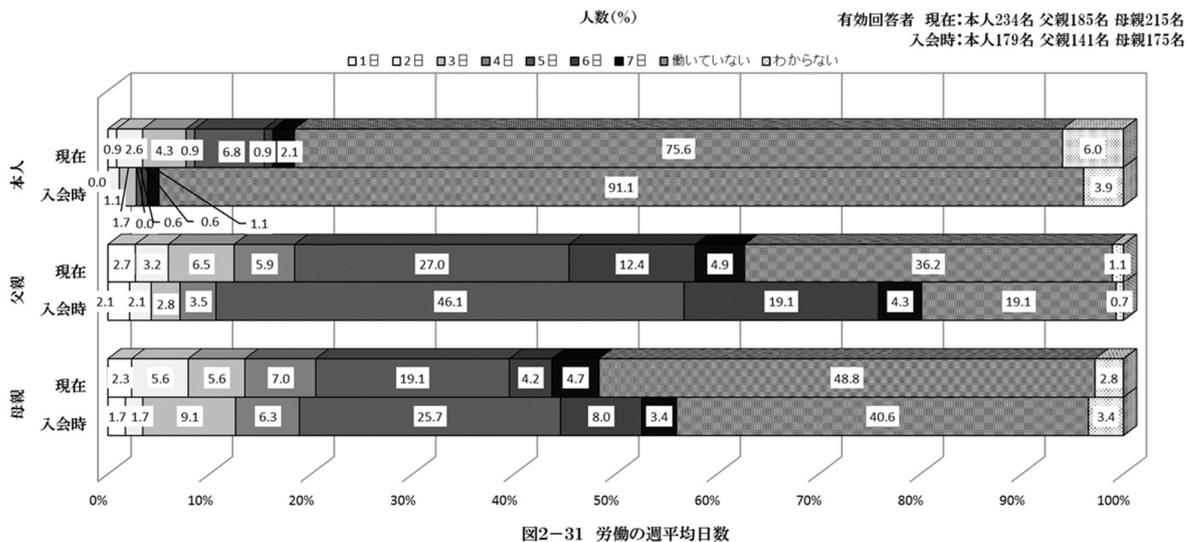


図2-31に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の1週間の労働の週平均日数について示しました。

本人について、働いていない方が入会時は91.1%、現在は75.6%でした。家族会入会当時よりも、現在の方が働いている方が多い結果となりました。日数について「5日」と回答した方が入会時は0.6%、現在は6.8%で、入会時に比べて現在は労働日数が増えていることがわかります。

父親について、働いていない方が入会時は19.1%、現在は36.2%でした。「5日」と回答した方が、入会時は46.1%、現在は27.0%でした。

母親について、働いていない方が入会時は40.6%、現在は48.8%でした。「5日」と回答した方が、入会時は25.7%、現在は19.1%でした。

父親、母親に関しては、ひきこもり本人の結果とは反対に、入会時よりも現在の方が働いていない方が多い結果となりました。また入会時も現在も、父親の方が母親よりも働いている方が多く、週平均日数も多い結果となりました。

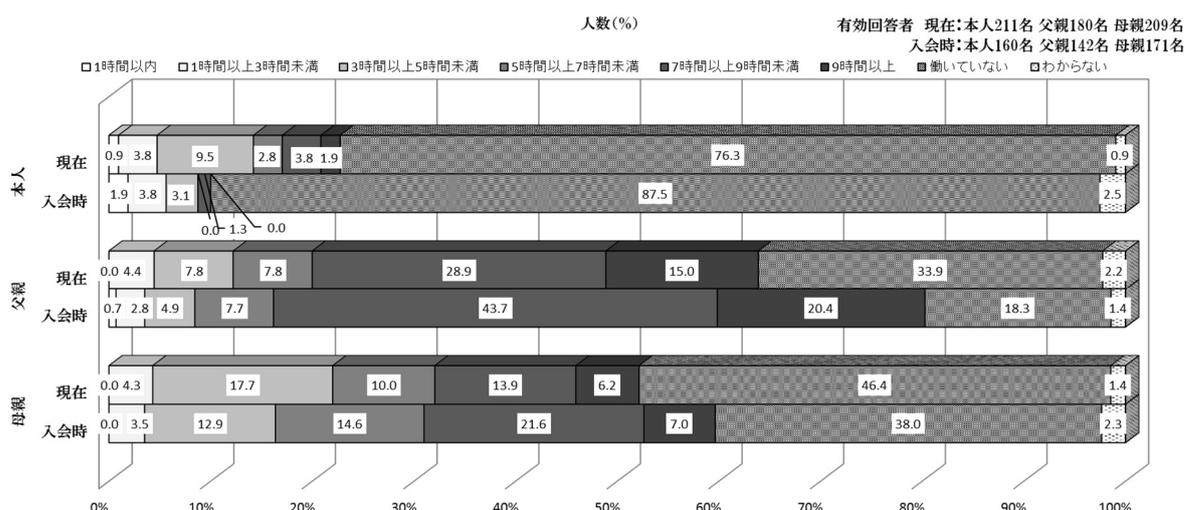


図2-32 1日あたりの労働時間

図2-32に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の1日あたりの労働時間について示しました。

働いている本人について、1日あたり「1時間以上3時間未満」働いている方は、入会時、現在ともに3.8%で、1日あたり「3時間以上5時間未満」働いている方は、入会時は3.1%、現在は9.5%でした。入会時は1日あたり「1時間以上3時間未満」働いている方がもっとも多かったのに対し、現在は1日あたり「3時間以上5時間未満」働いている方がもっとも多い結果となりました。

働いている父親について、1日あたり「7時間以上9時間未満」働いている方は、入会時は43.7%、現在は28.9%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

働いている母親について、1日あたり「3時間以上5時間未満」働いている方は、入会時は12.9%、現在は17.7%で、1日あたり「7時間以上9時間未満」働いている方は、入会時は21.6%、現在は13.9%でした。入会時は1日あたり「7時間以上9時間未満」働いている方がもっとも多かったのに対し、現在は1日あたり「3時間以上5時間未満」働いている方がもっとも多い結果となりました。

#### 4. 家事について

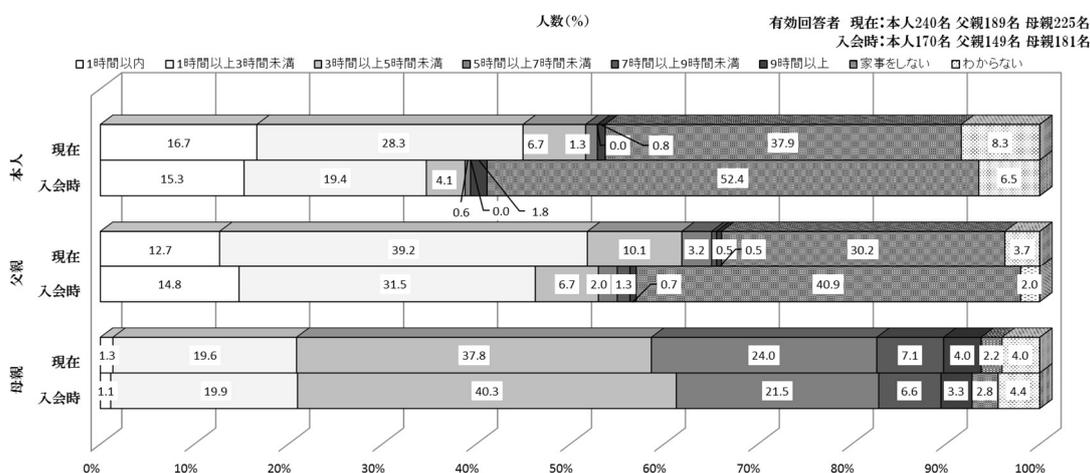


図2-33 1日あたりの家事時間(平日)

図2-33に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の1日あたりの平日の家事時間について示しました。

本人について、平日に家事をしない方が入会時は40.9%、現在は30.2%でした。平日に家事をする本人について、1日あたり「1時間以上3時間未満」家事をする方は、入会時は19.4%、現在は28.3%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

父親について、平日に家事をしない方が入会時は52.4%、現在は37.9%でした。平日に家事をする父親について、1日あたり「1時間以上3時間未満」家事をする方は、入会時は31.5%、現在は39.2%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

母親について、平日に家事をしない方が入会時は2.8%、現在は2.2%でした。平日に家事をする母親について、1日あたり「3時間以上5時間未満」家事をする方は、入会時は40.3%、現在は37.8%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

本人、父親、母親のいずれも家族会入会当時よりも、現在の方が平日に家事をする方が多い結果となりました。また、本人よりも父親、母親の平日に家事をする方の割合が大きく、特に母親に関してはほとんどの方が平日に家事をし、本人、父親に比べて家事の時間も長いことがわかりました。

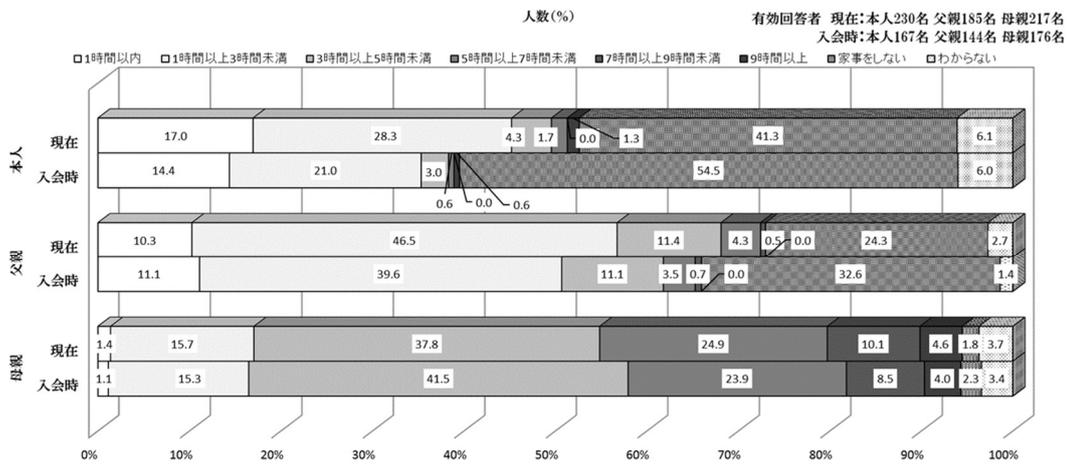


図2-34 1日あたりの家事時間(休日)

図2-34に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の1日あたりの休日の家事時間について示しました。

本人について、休日に家事をしない方が入会時は54.5%、現在は41.3%でした。休日に家事をする本人について、1日あたり「1時間以上3時間未満」家事をする方は、入会時は21.0%、現在は28.3%で、入会時、現在ともに最も回答が多い結果になりました。

父親について、休日に家事をしない方が入会時は32.6%、現在は24.3%でした。休日に家事をする父親について、1日あたり「1時間以上3時間未満」家事をする方は、入会時は39.6%、現在は46.5%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

母親について、休日に家事をしない方が入会時は1.8%、現在は2.3%でした。休日に家事をする母親について、1日あたり「3時間以上5時間未満」家事をする方は、入会時は41.5%、現在は37.8%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

本人、父親、母親のいずれも家族会入会当時よりも、現在の方が休日に家事をする方が多い結果となりました。また、平日の家事時間と同様に本人よりも父親、母親の休日に家事をする方の割合が多く、特に母親に関してはほとんどの方が休日に家事をし、本人、父親に比べて家事の時間も長いことがわかりました。

## 5. 育児や介護について

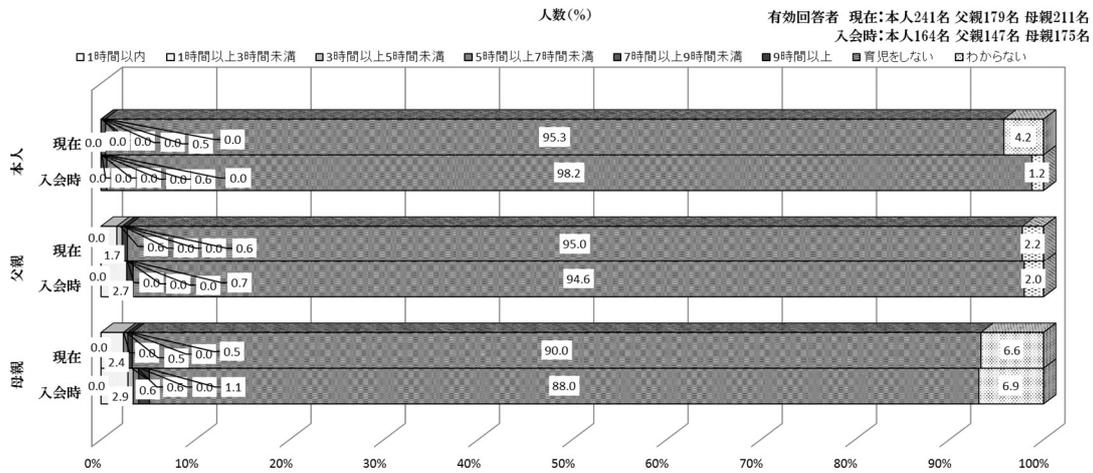


図2-35 1日あたりの育児時間

図2-35に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の1日あたりの育児時間について示しました。

本人について、育児をしない方が入会時は95.3%、現在は98.2%でした。育児をする本人について、1日あたり「7時間以上9時間未満」育児をする方は、入会時は0.6%、現在は0.5%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

父親について、育児をしない方が入会時は94.6%、現在は95.0%でした。育児をする父親について、1日あたり「1時間以上3時間未満」育児をする方は、入会時は2.7%、現在は1.7%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

母親について、育児をしない方が入会時は88.8%、現在は90.0%でした。育児をする母親について、1日あたり「1時間以上3時間未満」育児をする方は、入会時は2.9%、現在は2.4%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

総じて育児をしない方がほとんどの割合を占めました。

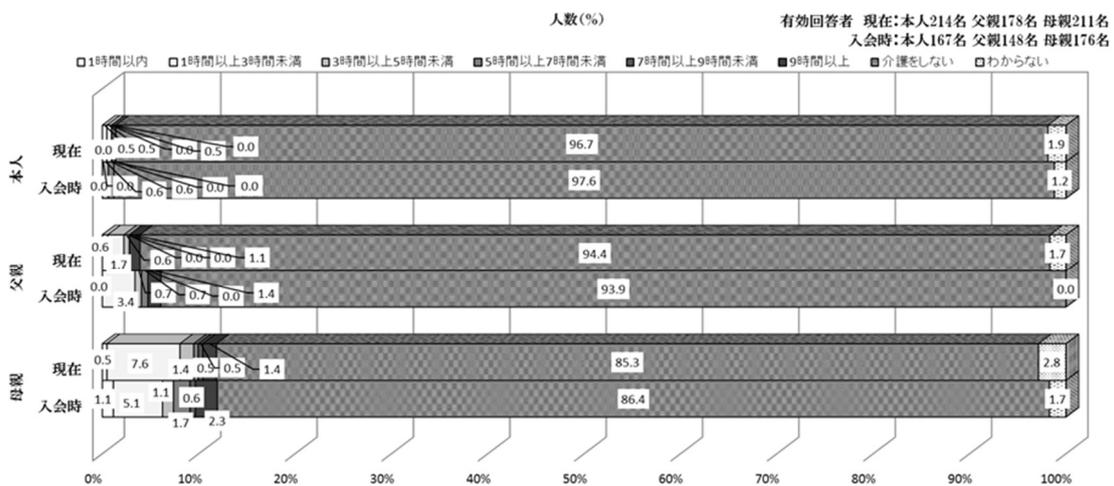


図2-36 1日あたりの介護時間

図2-36に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の1日あたりの介護時間について示しました。

本人について、介護をしない方が入会時は97.6%、現在は96.7%でした。介護をする本人について、1日あたり「3時間以上5時間未満」「5時間以上7時間未満」介護をする方は、それぞれ入会時は0.6%、現在は0.0%で、入会時においてもっとも回答が多い結果となりました。それに対して、1日あたり「1時間以内」「1時間以上3時間未満」「7時間以上9時間未満」介護をする方は、それぞれ入会時は0.0%、現在は0.5%で、現在においてもっとも回答が多い結果となりました。

父親について、介護をしない方が入会時は93.9%、現在は94.4%でした。介護をする父親について、1日あたり「1時間以上3時間未満」介護をする方は、入会時は3.4%、現在は1.7%で、入会時、現在ともっとも回答が多い結果になりました。

母親について、介護をしない方が入会時は86.4%、現在は85.3%でした。介護をする母親について、1日あたり「1時間以上3時間未満」介護をする方は、入会時は5.1%、現在は7.6%で、入会時、現在ともっとも回答が多い結果になりました。

本人はほとんどの方が入会時、現在ともに介護はしない結果になりました。父親、母親も介護をする方は少なく、介護をする方の中では母親が介護をする割合が父親に比べて大きいという結果になりました。

## 6. 親しい人との関係について

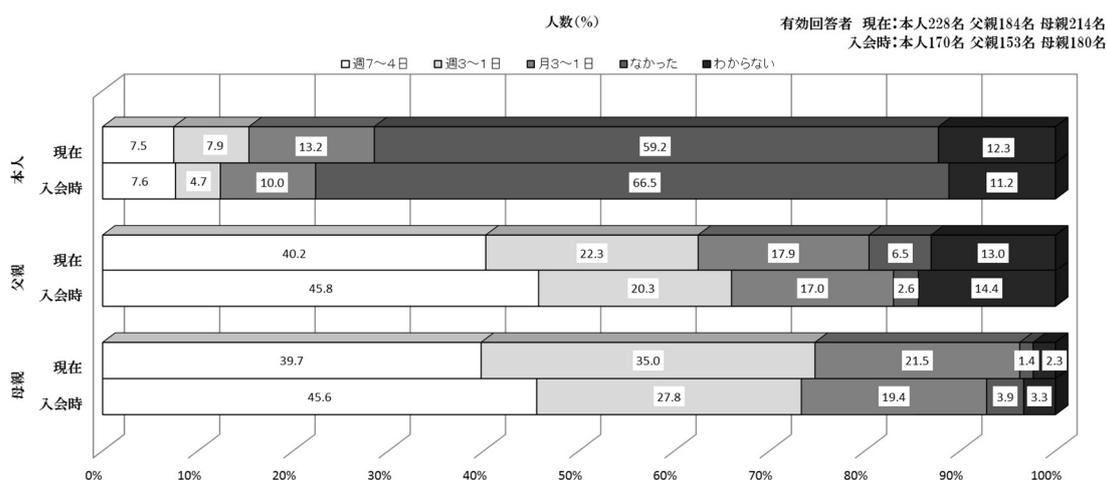


図2-37 親しい人との対面会話

図2-37に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の親しい人との対面会話について示しました。

本人について、親しい人との対面会話が「なかった」方が入会時は66.5%、現在は59.2%で、入会時、現在ともに半数以上を占めました。親しい人と「月3～1日」対面会話が合った方は、入会時は10.0%、現在は13.2%で、会話が合った中では入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

父親について、親しい人との対面会話が「なかった」方が入会時は2.6%、現在は6.5%でした。親しい人と「週7～4日」対面会話が合った方は、入会時は45.8%、現在は40.2%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

母親について、親しい人との対面会話が「なかった」方が入会時は3.9%、現在は1.4%でした。親しい人と「週7～4日」対面会話が合った方は、入会時は45.6%、現在は39.7%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

本人と母親について、入会時より現在の方が、親しい人との対面会話が「なかった」方の割合が小さくなりました。

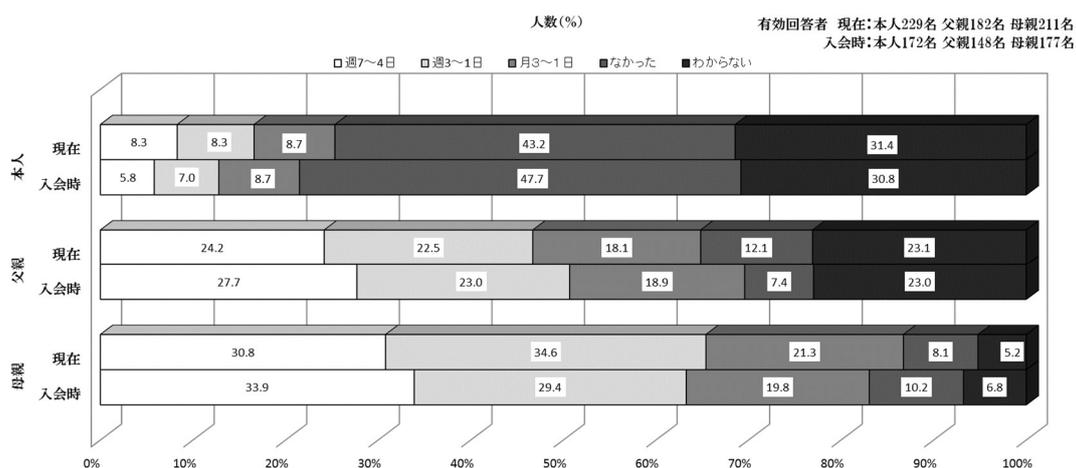


図2-38 親しい人との対面ではない会話

図2-38に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の親しい人との対面ではない会話について示しました。

本人について、親しい人との対面ではない会話が「なかった」方が入会時は47.7%、現在は43.2%で、もっとも回答が多い結果になりました。親しい人と「月3～1日」会話が合った方は、入会時、現在ともに8.7%で、会話が合った中では入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

父親について、親しい人との対面ではない会話が「なかった」方が入会時は7.4%、現在は12.1%でした。親しい人と「週7～4日」対面ではない会話が合った方は、入会時は27.7%、現在は24.2%で、入会時、現在ともにもっとも回答が多い結果になりました。

母親について、親しい人との対面ではない会話が「なかった」方が入会時は10.2%、現在は8.1%でした。親しい人と「週7～4日」対面ではない会話があった方は、入会時は33.9%、現在は30.8%で、入会時においてもっとも回答が多い結果になりました。親しい人と「週3～1日」対面ではない会話があった方は、入会時は29.4%、現在は34.6%で、現在においてもっとも回答が多い結果になりました。

本人と母親について、入会時より現在の方が、親しい人と対面ではない会話が「なかった」方の割合が小さくなりました。

## 7. 親しくない人との関係について

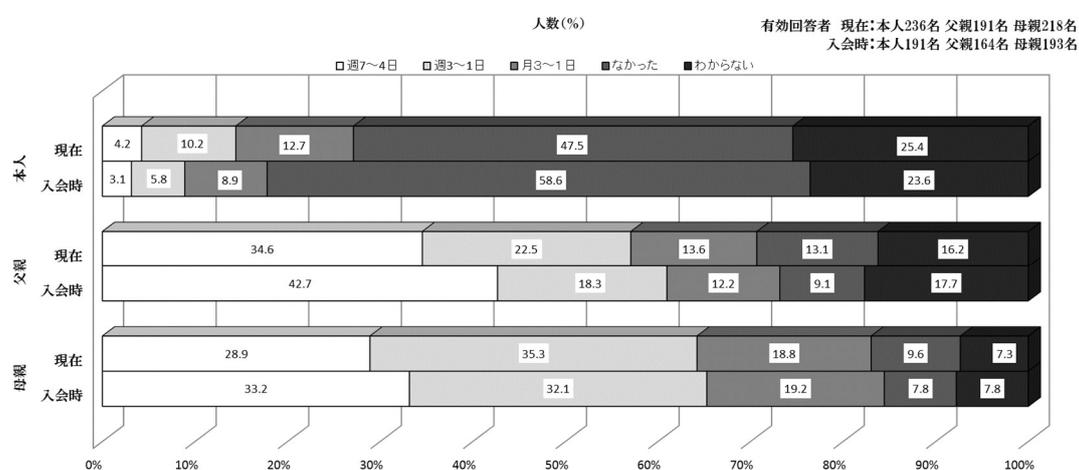


図2-39 親しくない人との会話

図2-39に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の親しくない人との会話について示しました。

本人について、親しくない人との会話が「なかった」方が入会時は58.6%、現在は47.5%で、入会時、現在ともにほぼ半数占めました。親しくない人と「月3～1日」会話があった方は、入会時は8.9%、現在は12.7%で、会話があった中では入会時、現在ともっとも回答が多い結果になりました。

父親について、親しくない人との会話が「なかった」方が入会時は9.1%、現在は13.1%でした。親しくない人と「週7～4日」会話があった方は、入会時は42.7%、現在は34.6%で、入会時、現在ともっとも回答が多い結果になりました。

母親について、親しくない人との会話が「なかった」方が入会時は7.8%、現在は9.6%でした。親しくない人と「週7～4日」会話があった方は、入会時は33.2%、現在は28.9%で、入会時においてもっとも回答が多い結果になりました。親しくない人と「週3～1日」会話があった方は、入会時は32.1%、現在は34.6%で、現在においてもっとも回答が多い結果になりました。

## 8. 会話の有無

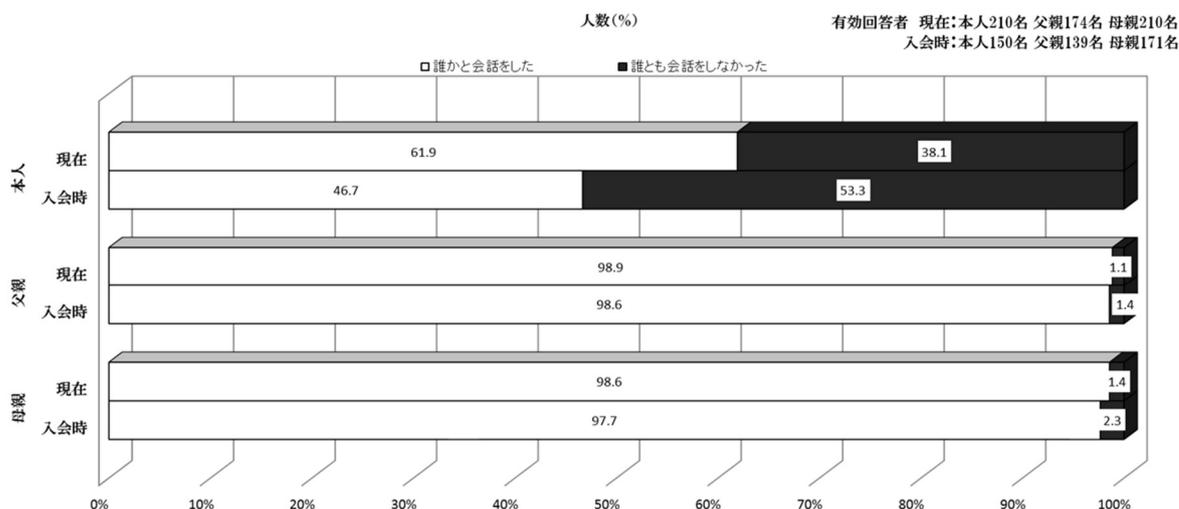


図2-40 誰かとの会話

図2-40に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在（ここ1ヵ月）と家族会入会時の会話の有無について示しました。

本人について、「誰かと会話をした」方が入会時は46.7%、現在は61.9%で、入会時は半数以上が会話をしなかったのに対し、現在は会話をした方が半数以上を占めています。

父親について、「誰かと会話をした」方が入会時は98.6%、現在は98.9%でした。

母親について、「誰かと会話をした」方が入会時は98.6%、現在は97.7%でした。

父親と母親については、入会時、現在ともにほとんどの方が誰かと会話をしたという結果になりました。

## 9. 同居家族との不和について

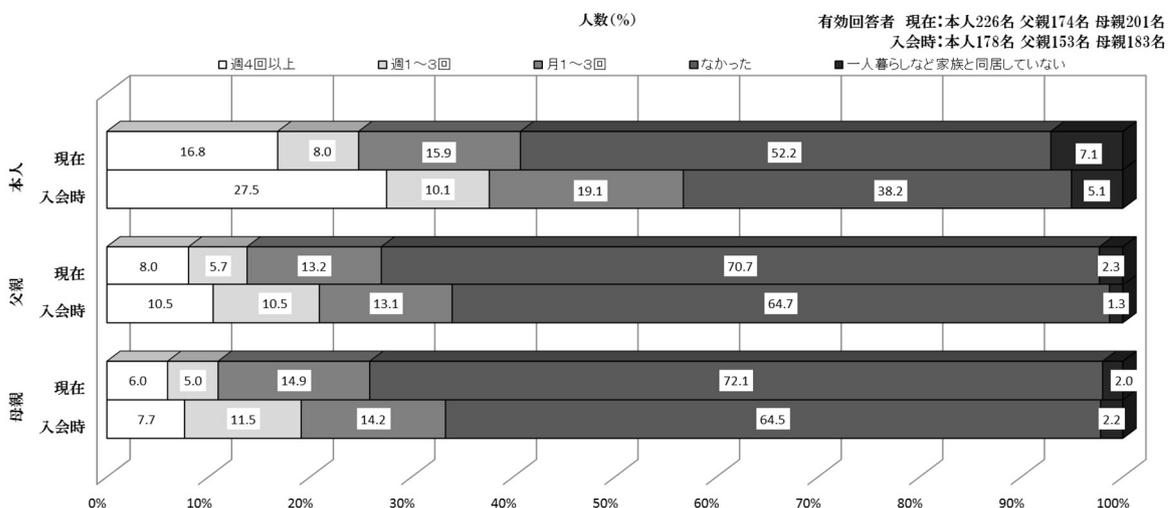


図2-41 同居家族との不和①(意図的な無視、会話を避けること、継続的な対立、口論)

図2-41に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の同居家族との不和（意図的な無視、会話を避けること、継続的な対立、口論）について示しました。

本人について、同居家族との不和（意図的な無視、会話を避けること、継続的な対立、口論）が「なかった」方が入会時は38.2%、現在は52.2%でした。不和があった中で、「週4回以上」と回答した方が入会時は27.5%、現在は16.8%で、入会時、現在ともにもっとも多い結果となりました。

父親について、同居家族との不和（意図的な無視、会話を避けること、継続的な対立、口論）が「なかった」方が入会時は64.7%、現在は70.7%でした。不和があった中で、「月1～3回」と回答した方が入会時は13.1%、現在は13.2%で、入会時、現在ともにもっとも多い結果となりました。

母親について、同居家族との不和（意図的な無視、会話を避けること、継続的な対立、口論）が「なかった」方が入会時は64.5%、現在は72.1%でした。不和があった中で、「月1～3回」と回答した方が入会時は14.2%、現在は14.9%で、入会時、現在ともにもっとも多い結果となりました。

本人、父親、母親のいずれも、入会時より現在の方が、同居家族との不和（意図的な無視、会話を避けること、継続的な対立、口論）が「なかった」方の割合が大きくなりました。

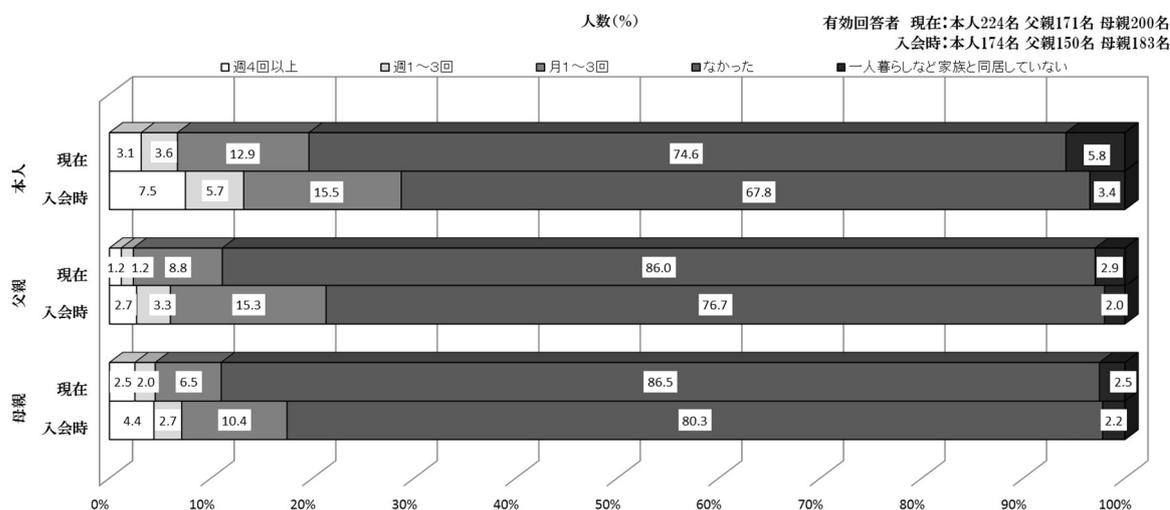


図2-42 同居家族との不和②(暴言、かんしゃく、怪我のない程度の身体的暴力)

図2-42に、ひきこもり本人、父親、母親、それぞれの現在と家族会入会時の同居家族との不和（暴言、かんしゃく、怪我のない程度の身体的暴力）について示しました。

本人について、同居家族との不和（暴言、かんしゃく、怪我のない程度の身体的暴力）が「なかった」方が入会時は67.8%、現在は74.6%でした。不和が

あった中で、「月1～3回」と回答した方が入会時は15.5%、現在は12.9%で、入会時、現在ともにもっとも多い結果となりました。

父親について、同居家族との不和（暴言、かんしゃく、怪我のない程度の身体的暴力）が「なかった」方が入会時は76.7%、現在は86.0%でした。不和があった中で、「月1～3回」と回答した方が入会時は15.3%、現在は8.8%で、入会時、現在ともにもっとも多い結果となりました。

母親について、同居家族との不和同居家族との不和（暴言、かんしゃく、怪我のない程度の身体的暴力）が「なかった」方が入会時は80.3%、現在は86.5%でした。不和があった中で、「月1～3回」と回答した方が入会時は10.4%、現在は6.5%で、入会時、現在ともにもっとも多い結果となりました。

本人、父親、母親のいずれも、入会時より現在の方が、同居家族との不和（暴言、かんしゃく、怪我のない程度の身体的暴力）が「なかった」方の割合が大きくなりました。

#### 10. 学校について

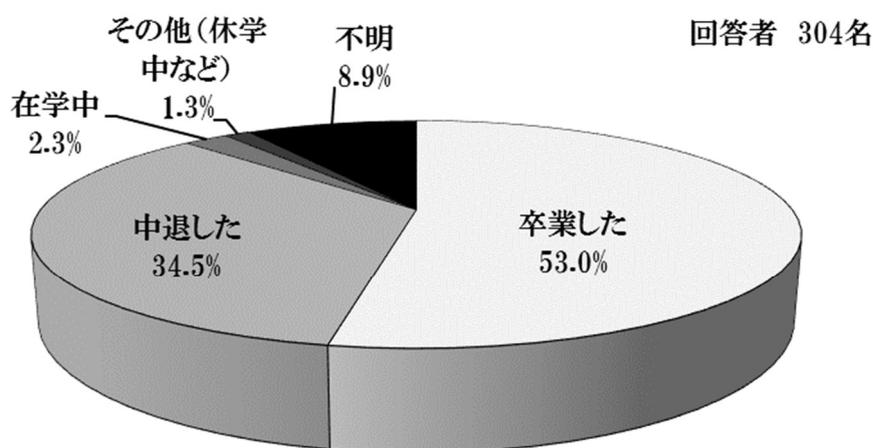


図2-43 学校の卒業・在学の状況

図2-43にひきこもり本人が最後に行った学校についてお聞きしました。最後に行った学校を卒業したと回答した方がもっとも多く53.0%、中退したと回答した方が34.5%、在学中であると回答した方が2.3%、その他（休学中など）と回答した方が1.3%でした。

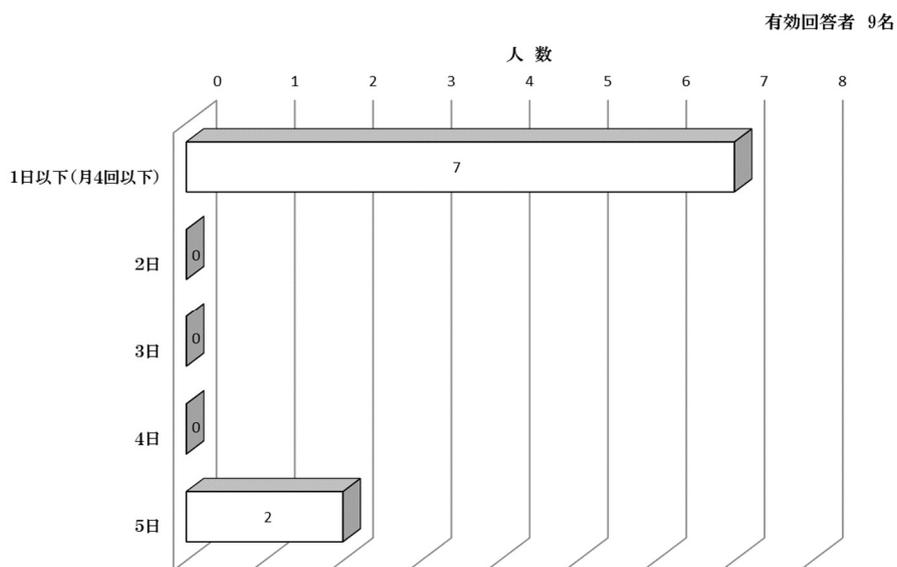


図2-44 本人の学校の登校日

「在学中である」と回答した方のうち、学校の登校日についても調査を行った結果を図2-44に示しました。1週間あたりの登校日は「1日以下（月4回以下）」と回答した方が7人、「5日」と回答した方が2人という結果になりました。

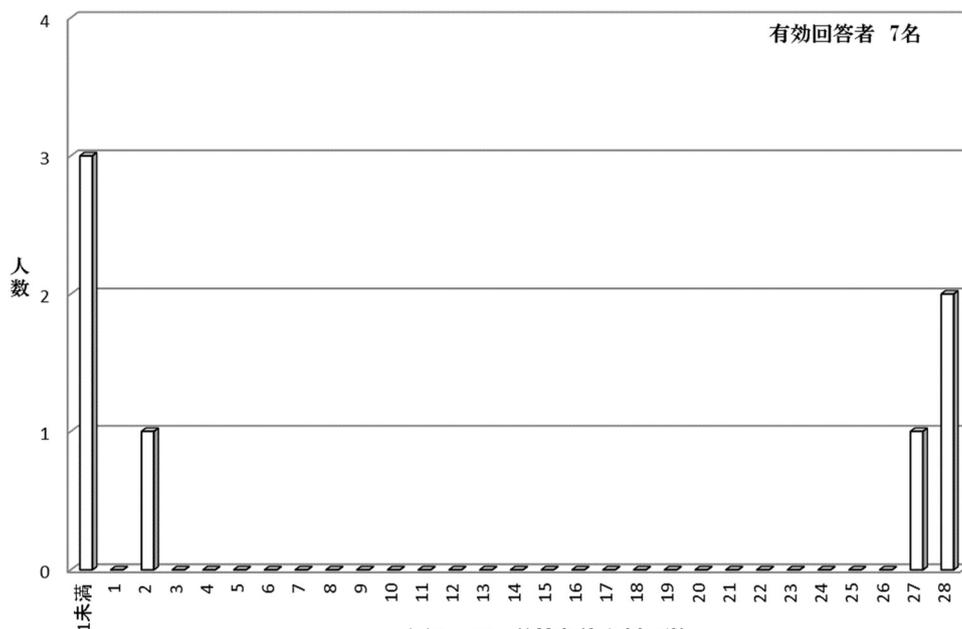


図2-45 学校を休んだ日数

さらに4週間（28日）の登校日のうち、何日休んだかの調査を行った結果を図2-45に示しました。「1日未満」と回答した方が3人ともっとも多く、「2日」と回答した方が1人、「27日」と回答した方が1人、「28日」と回答した人が2人と、ほとんど登校した方とほとんど休んだ方が二極化する結果となりました。